

その他事業一覧

部名称	課名称	事業名称	令和5年度 要求額 (千円)	令和5年度 最終査定額 (千円)	頁
障害福祉部	障害福祉サービス課	障害者(児)日中一時支援	38,693	38,693	161
障害福祉部	障害福祉サービス課	訪問入浴サービス事業	65,477	65,477	163
障害福祉部	障害福祉サービス課	重度障害者就業支援事業	6,732	6,732	165
障害福祉部	障害福祉サービス課	障害児施設入浴サービス事業	4,554	4,554	167
障害福祉部	障害者更生相談所	身体障害者手帳診断書無料交付事業	4,838	4,838	169
健康部	健康医療政策課	救急医療対策事業	421,410	366,090	171
健康部	健康医療政策課	堺市立病院機構運営費負担事業	2,993,249	2,993,249	173
健康部	健康医療政策課	看護師確保対策事業	37,382	37,382	175
健康部	健康医療政策課	医療計画推進事業	2,059	2,059	177
健康部	健康医療政策課	健康都市づくり関連事業(本庁)	6,000	6,000	179
健康部	健康推進課	骨粗しょう症予防検診	1,370	1,370	181
健康部	健康推進課	成人歯科検診事業	5,994	5,994	183
健康部	健康推進課	健康診査・保健指導事業	3,864	3,864	185
健康部	健康推進課	健康推進・がん対策推進事業	17,509	17,509	187
健康部	健康推進課	地域・職域連携事業	343	343	189
健康部	健康推進課	成人保健指導事業	8,009	8,009	191
健康部	健康推進課	特定健康診査事業	545,134	545,134	193
健康部	斎場	斎場管理運営	581,551	496,189	195
健康部	精神保健課	精神科救急医療体制整備事業	53,594	53,594	197
健康部	精神保健課	こころの健康づくり推進事業	17,979	17,979	199

その他事業一覧

部名称	課名称	事業名称	令和5年度 要求額 (千円)	令和5年度 最終査定額 (千円)	頁
健康部	精神保健課	精神障害者保健福祉手帳交付事業	5,067	5,067	201
健康部	精神保健課	自殺対策事業	3,286	3,286	203
健康部	精神保健課	依存症対策推進事業	642	642	205
健康部	こころの健康センター	こころの健康センター地域支援事業	12,797	12,797	207
健康部	こころの健康センター	依存症対策支援事業	8,928	8,928	209
健康部	こころの健康センター	ひきこもり支援事業	16,462	16,462	211
健康部	衛生研究所	試験検査に関する調査研究	437	437	213
保健所	保健医療課	医療相談窓口運営事業	5,249	5,249	215
保健所	保健医療課	難病患者支援事業	9,920	9,920	217
保健所	保健医療課	療養生活環境整備事業	39,594	39,594	219
保健所	保健医療課	公害保健福祉事業	9,665	9,665	221
保健所	保健医療課	公害健康被害予防事業	510	510	223
保健所	保健医療課	石綿検診事業	1,663	1,663	225
保健所	保健医療課	骨髄移植普及促進事業	2,799	2,799	227
保健所	感染症対策課	予防接種事業	5,201,565	4,724,156	229
保健所	感染症対策課	感染症予防対策	13,020,997	5,678,968	231
保健所	感染症対策課	エイズ予防対策	2,844	2,844	233
保健所	感染症対策課	結核定期健康診断・予防啓発事業	20,502	19,713	235
保健所	感染症対策課	結核接触者検診・患者管理	8,205	8,205	237
保健所	感染症対策課	結核対策特別促進事業	6,104	6,104	239

その他事業一覧

部名称	課名称	事業名称	令和5年度 要求額 (千円)	令和5年度 最終査定額 (千円)	頁
保健所	食品衛生課	食品衛生知識の普及	586	586	241
保健所	動物指導センター	狂犬病予防対策	21,093	21,093	243
保健所	環境薬務課	薬事・毒物劇物関係許認可及び監視 指導事業	2,696	2,696	245
保健所	環境薬務課	公衆浴場衛生確保事業	2,500	2,500	247
保健所	生活衛生センター	衛生害虫等啓発事業	21,962	21,962	249

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計			要求区分	その他
			事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	障害者（児）日中一時支援		事業番号	011-147
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部
障害福祉サービス				課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～		施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現		
			有	取組の方向性	②障害者の暮らしの場の確保					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう		ターゲット	10.2		
			有	取組	障害者児及びその家族に対する支援					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画			第4次堺市障害者長期計画、第6期堺市障害福祉計画						
3	事業開始年度			平成 18 年度		点検年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			障害者総合支援法第77条、堺市障害者日中一時支援事業実施要綱						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	身体障害者・知的障害者・精神障害者・障害児
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	障害者（児）の日中活動の場の確保及び家族の就労、一時的な休息の取得に寄与することにより、障害者（児）が地域で生活していくことができる環境を整える。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	本市に登録している指定短期入所事業者が日中活動の場として、宿泊を伴わない短期入所（日帰りショートステイ）サービスを行う。 利用料は原則1割負担。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	障害者（児）の日中活動の場の確保及び障害者等及びその家族の福祉の向上						
	当該目標を設定した理由	本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。					
	目標に対する実績	本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	サービス提供人数		目標値	-	-	-	
			実績値	959	1,054		
			達成率	-	-		
	当該指標を選定した理由	事業の全体量を把握するのに最適な指標のため。					
目標値の設定根拠・算出方法		本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	障害者（児）日中一時支援	事業番号	011-147
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)			
	項 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
		決算		決算		決算		予算		予算要求			
13	財 源 内 訳	事業費（a）		50,875		42,960		38,200		44,288		38,693	
		国支出金											
		府支出金											
		市債											
		その他（											

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	事業を継続実施
	R5	事業を継続実施
	R6以降	事業を継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	障害者の日中活動の場としての確保のため、利用状況を確認しながら現状を踏まえて要求する。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

				要求区分	その他
一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	訪問入浴サービス事業			事業番号	011-159
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害福祉サービス
					課

I. 基本情報

事業の位置付け										
1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現			
			有	取組の方向性	②障害者の暮らしの場の確保					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう		ターゲット	10.2		
			有	取組	障害者児及びその家族に対する支援					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画			第4次堺市障害者長期計画、第6期堺市障害児福祉計画						
3	事業開始年度			平成 16 年度		点検年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			障害者総合支援法第77条、堺市訪問入浴サービス事業実施要綱						
事業の概要										
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)			本庁、各区						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)			訪問入浴サービスによらなければ入浴することができない身体障害者						
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)			身体障害者の身体の清潔の保持、心身機能の維持を図り、身体障害者の在宅生活を支援する。						
8	事業内容 (目的を達成するための手段)			訪問入浴受託事業者が浴槽を利用者宅へ運び入浴サービスを行う。利用料は原則1割負担。						
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など									
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載									
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)			リトルバード (株) 堺訪問入浴センター、エルケア(株) エルケア堺入浴センター 等						
10	公民連携・協働事業									

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	定性的な成果目標					
	身体障害者の身体の清潔保持及び心身機能の維持					
	当該目標を設定した理由	本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。				
	目標に対する実績	延べ利用者数758人（令和3年度実績）（目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。）				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度
	利用回数	回	目標値	－	－	－
			実績値	4,999	4,667	
			達成率	－	－	
	当該指標を選定した理由	事業の全体量を把握するのに最適な指標のため。				
目標値の設定根拠・算出方法	延べ利用回数（目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。）					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	訪問入浴サービス事業	事業番号	011-159
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)			
13	財 源 内 訳	項 目		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
				決算		決算		決算		予算		予算要求	
		事業費 (a)		61,800		64,357		67,387		72,302		65,477	
		国支出金											
		府支出金											
		市債											
		その他 ()											
		受益者負担金(使用料、手数料等)		208		180		192		240		336	
一般財源		61,592		64,177		67,195		72,062		65,141			
事業費の内訳												(単位：千円)	
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源
				R4	予算					R4	予算		
		訪問入浴サービス事業		R5	予算	72,302	72,062	R5	予算				
				R5	予算	65,477	65,141	R5	予算				
				R4	予算			R4	予算				
				R5	予算			R5	予算				
				R4	予算			R4	予算				
				R5	予算			R5	予算				
				R4	予算			R4	予算				
				R5	予算			R5	予算				
				R4	予算			R4	予算				
				R5	予算			R5	予算				
		R4	予算			R4	予算						
		R5	予算			R5	予算						
債務負担行為												(単位：千円)	
15	期間			R ~ R				要求額					

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	新型コロナウイルスの蔓延により、在宅支援として利用が増加しつつあった。令和4年度4月以降は、利用者数や利用回数は前年度に比べて減少傾向にある。
	R5	今後も介護保険法の訪問入浴介護に関する報酬単価と同水準にて事業を運営する。
	R6以降	利用状況に応じて事業を継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	本事業は、このサービスによらなければ入浴することができない身体障害者に対して、身体の清潔の保持等を図るため入浴サービスを提供するものであり、障害者の暮らしの場の確保、障害者及びその家族に対する支援の推進に寄与しており、利用状況を確認しながら現状を踏まえて要求する。
----	---------	--

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計			要求区分	その他
			事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	重度障害者就業支援事業		事業番号	011-274
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部
		障害福祉サービス		
		課		

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現
		有	有	取組の方向性	③障害者の社会参加の促進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	福祉施設から一般就労への移行者数		
		有	有	現状値	188人(2019年度)	目標値	260人(2025年度)
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール10人や国の不平等をなくそう	ターゲット	10.2
		有	有	取組	障害者児及びその家族に対する支援		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、第6期堺市障害福祉計画		
3	事業開始年度	令和 2 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	障害者総合支援法第77条		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	重度訪問介護・同行援護・行動援護を利用している個人事業主又は被雇用者					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	常時介護を必要とする重度障害者の日常生活に係る支援を就業中等にも行うことで、重度障害者に対する就労機会を拡大し、社会参加を促進する。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	就業中や就業に伴う移動中及び休憩時間中の日常生活に係る介助を重度訪問介護事業者等が行う。利用料は原則1割負担。					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 令和7年度
	サービス提供人数	人	目標値	-	-	-	-
			実績値	0	2		
			達成率	-	-		
	当該指標を選定した理由	事業の全体量を把握するのに最適な指標のため。					
12	目標値の設定根拠・算出方法	実利用人数（目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。）					
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	サービス利用時間	時間	目標値	-	-	-	
			実績値	0	178		
			達成率	-	-		
	当該指標を選定した理由	事業の全体量を把握するのに最適な指標のため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	サービス利用時間（目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。）					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	重度障害者就業支援事業	事業番号	011-274
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)			
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
			決算		決算		決算		予算		予算要求		
		事業費 (a)		0		0		0		5,428		6,732	
		国支出金		0		0		0		2,714		3,365	
		府支出金		0		0		0		1,357		1,682	
		市債		0		0		0		0		0	
		その他 ()		0		0		0		0		0	
		受益者負担金(使用料、手数料等)		0		0		0		0		0	
		一般財源		0		0		0		1,357		1,685	
事業費の内訳												(単位：千円)	
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源		
			R4	予算				R4	予算				
		重度障害者就業支援事業		R5	予算	5,428	1,357			R5	予算		
				R5	予算	6,732	1,685			R5	予算		
				R4	予算					R4	予算		
				R5	予算					R5	予算		
				R4	予算					R4	予算		
				R5	予算					R5	予算		
				R4	予算					R4	予算		
				R5	予算					R5	予算		
		R4	予算					R4	予算				
		R5	予算					R5	予算				
債務負担行為												(単位：千円)	
15	期間		R ~ R				要求額						

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	R4.1要綱制定・施行
	R5	利用状況に応じて国・府補助を活用しながら事業の継続実施
	R6以降	利用状況に応じて国・府補助を活用しながら事業の継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	令和3年度から対象者を重度訪問介護・同行援護・行動援護利用者の自営業者と被用者に拡充し実施している。利用状況を確認しながら現状を踏まえて、令和5年度は拡充して要求する。
----	---------	--

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	障害児施設入浴サービス事業				事業番号	011-289
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害福祉サービス	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～		施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現		
			有	取組の方向性	④障害のある子どもと家庭への支援					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう		ターゲット	10.2		
			有	取組	障害者児及びその家族に対する支援					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画			第2期堺市子ども・子育て支援事業計画、第4次堺市障害者長期計画、第6期堺市障害福祉計画、第2期障害児福祉計画						
3	事業開始年度			平成 17 年度		点検年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			堺市障害児施設入浴サービス事業実施要綱						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市内に住所を有し、特別支援学校の中学部若しくは中学校に通学している者又はこれらを卒業した者のうち、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者であって、かつ、身体障害者手帳または療育手帳を交付されている者。					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	自宅での入浴が困難な障害児を施設で入浴させることにより、当該障害児及びその家族の福祉の向上や、障害児の身体の清潔の維持・心身機能の維持を図る。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	体格も大きく保護者の介助が困難な12歳以上18歳未満の障害児に施設にて入浴の機会を提供する。(利用は1週間当たり2回とし、月10回を限度としている。)					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載							
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	社会福祉法人サライ福祉会、生活協同組合エスコープ大阪等					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 点検年度 令和7年度
	サービス提供者数	人	目標値	－	－	－	－
			実績値	83	57		
			達成率	－	－		
	当該指標を選定した理由	事業の全体量を把握するのに最適な指標のため。					
目標値の設定根拠・算出方法	延べ利用者数（目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。）						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	利用回数	回	目標値	－	－	－	
			実績値	417	256		
			達成率	－	－		
	当該指標を選定した理由	事業の全体量を把握するのに最適な指標のため。					
目標値の設定根拠・算出方法	延べ利用回数（目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。）						

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	障害児施設入浴サービス事業	事業番号	011-289
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)						
13	財 源 内 訳	項 目		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
				決算		決算		決算		予算		予算要求				
		事業費 (a)			5,181		4,554		3,461		3,675		4,554			
		国支出金														
		府支出金														
		市債														
		その他 ()														
		受益者負担金(使用料、手数料等)			246		232		140		142		102			
一般財源			4,935		4,322		3,321		3,533		4,452					
事業費の内訳												(単位：千円)				
14	事 業 費 内 訳	主な項目			年度		事業費	うち 一般財源	主な項目			年度		事業費	うち 一般財源	
		障害児施設入浴サービス事業委託料			R4	予算	3,675	3,533				R4	予算			
					R5	予算	4,554	4,452				R5	予算			
					R4	予算						R4	予算			
					R5	予算						R5	予算			
					R4	予算						R4	予算			
					R5	予算						R5	予算			
					R4	予算						R4	予算			
					R5	予算						R5	予算			
					R4	予算						R4	予算			
					R5	予算						R5	予算			
			R4	予算						R4	予算					
			R5	予算						R5	予算					
債務負担行為															(単位：千円)	
15	期間			R ~ R				要求額								

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	令和3年度は、障害児通所支援事業所でも同様のサービスが提供されるようになったことや新型コロナウイルス蔓延の影響などにより、全体の支援件数が減少しました。
	R5	今後も同様のサービス提供の動向を伺いながら事業を運営していく。
	R6以降	今後も同様のサービス提供の動向を伺いながら事業を運営していく。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	本事業は、体格も大きく保護者の介助が難しく、自宅での入浴が困難な障害児に、身体の清潔の維持や心身機能の維持、当該障害者及びその家族の福祉の向上を図るため、施設での入浴の機会を提供するものであり、障害のある子どもと家庭への支援に寄与しており、利用状況を確認しながら現状を踏まえて要求する。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計				要求区分		その他				
				事務事業分類		A 一般事務事業				
事務事業名		身体障害者手帳診断書無料交付事業				事業番号		011-172		
担当部署名		健康福祉		局	障害福祉		部	障害者更生相談所		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画 2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現		
			有	取組の方向性	③障害者の社会参加の促進				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう		ターゲット	10.2	
			有	取組	障害者児及びその家族に対する支援				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	

2	関連計画			
3	事業開始年度	昭和 45 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市身体障害者手帳に要する診断書の無料交付に関する要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	出先機関、各区						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	本市に住所を有し、かつ、市民税非課税世帯に属する人で、身体に障害があり身体障害者手帳の交付のために医師の診断を受ける人、あるいは再認定を付した同手帳を所持する障害者で再認定のために医師の診断を受ける人						
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	身体障害者手帳の申請に必要な診断を受けるために要した費用を無料にすることによって、身体障害者手帳取得の促進、福祉の増進、福祉制度の周知及び、低所得者への負担軽減を図る。						
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	身体障害者の認定に必要な診断書の作成にかかった文書料を助成する。 対象者が無料交付券を医療機関窓口提出することで、医療機関から本市へ費用を請求してもらう。 または、対象者が医療機関窓口で支払った費用を償還払いする。						
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など							
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載							
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）							
10	公民連携・協働事業							

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 点検年度 令和7年度
	支給決定件数	件	目標値				
			実績値	895	862		
			達成率				
	当該指標を選定した理由	これにより診断書に係る経済的負担がなくなり、事業の目的である身体障害者手帳の申請につながるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	申請に応じ決定するものであるため、数値目標を設定できる性質のものではない。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	支給申請件数	件	目標値				
			実績値	1,013	808		
			達成率				
	当該指標を選定した理由	事業の対象者となる人に案内したことにより申請がなされるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	相談に応じ案内、受理するものであるため、数値目標を設定できる性質のものではない。					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	身体障害者手帳診断書無料交付事業	事業番号	011-172
-------	------------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト

（単位：千円）

	項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費（a）	7,202	3,896	4,654	5,178	4,838
	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（ ）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	7,202	3,885	4,654	5,178	4,838

事業費の内訳

（単位：千円）

	主な項目	年度		事業費		うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
14 事 業 費 内 訳	医療費	R4	予算	5,168	5,168			R4	予算		
		R5	予算	4,828	4,828			R5	予算		
	通信運搬費	R4	予算	10	10			R4	予算		
		R5	予算	10	10			R5	予算		
		R4	予算					R4	予算		
		R5	予算					R5	予算		
		R4	予算					R4	予算		
		R5	予算					R5	予算		
		R4	予算					R4	予算		
		R5	予算					R5	予算		
		R4	予算					R4	予算		
		R5	予算					R5	予算		

債務負担行為

（単位：千円）

15	期間	R ～ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R4まで	・昭和45年に事業開始。 ・平成17年度より市民税非課税世帯等に対象者を限定。 ・令和2年度より市民税非課税世帯のみに対象者を限定。また、公費負担を文書料のみに限定。
	R5	継続実施
	R6以降	継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	年度が替わる毎に1件当たりの文書料が増加している。令和5年度についても1件あたりの文書料が上がることを予測される。令和3年度から4年度にかけて、1件当たりの金額が1.04%増加していることから、令和5年度についても同水準で金額が上がることを想定し、1件当たりの文書料を推算。件数については、コロナ禍による影響で予測が付きにくい、直近1年間（令和3年10月～令和4年9月）の申請件数と同程度と見込んで予算要求を行った。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	救急医療対策事業				事業番号	110-173
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康医療政策	

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(2) かかりつけ医から高度医療までつながる地域医療体制の充実
			有	取組の方向性	①地域医療体制の充実		
		寄与 する KPI	有・無	指標名			
	無		現状値	—	目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール		ターゲット	—
			無	取組			
寄与 する KPI		有・無	指標名				
無	現状値	—	目標値	—			
2	関連計画						
3	事業開始年度			昭和 47 年度		点検年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			堺市救急医療対策事業運営費補助金交付要綱			
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)			本庁及び市外郭団体			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)			医療機能が低下する休日・夜間に初期急病（歯科）診療を運営する公益財団法人堺市救急医療事業団、一般社団法人歯科医師会及び入院治療等が必要な重症緊急患者等の受け入れを行う救急告示病院（精神科のみの診療を行う病院を除く22病院）			
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)			休日・夜間等の救急医療体制の確保等により地域の救急医療体制を確立し、地域住民の生命の安全の確保及び健康保持増進に寄与すること。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			・公益財団法人堺市救急医療事業団（以下「事業団」という。）に対し、こども急病診療センター（小児科）及び泉北急病診療センター（内科）の運営に係る補助金を交付。事業団は、両センターに出務する医師及び薬剤師を医師会等外部団体の協力を得て確保するとともに、重症者等を後送する病院の確保を行うなど休日・夜間の適正な医療提供を行っている。 ◆診療受付時間 こども急病診療センター 平 日 20:30～翌朝4:30 土曜日 17:30～翌朝4:30 日・祝 9:30～11:30 12:45～16:30 17:30～翌朝4:30 泉北急病診療センター 土曜日 17:30～20:30 日・祝 9:30～11:30 12:45～16:30 17:30～20:30 ・救急搬送等を受け入れる二次救急医療機関及び歯科急病診療を行う一般社団法人堺市歯科医師会に対する補助金の交付により地域救急医療体制を確立。 ・大阪府、大阪市との共同事業による周産期医療体制の確保 ・医療機関との情報共有、意見交換による連携強化 ・市民の適正受診に向けた啓発活動			
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）			公益財団法人堺市救急医療事業団ほか			
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 点検年度 令和7年度
	救急受診者数（初期・二次・三次救急）	日	目標値	－	－	－	－
			実績値	79,496	80,000		
			達成率	－	－		
	当該指標を選定した理由	救急医療提供の成果として、主要かつ客観的な指標であるため					
目標値の設定根拠・算出方法	休日夜間に診療を要する患者のための事業であり、目標値、達成率は記載できない。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	救急告示病院連絡会開催回数	人	目標値	2	2	2	
			実績値	2	2		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	本市主催で定期的に連絡会を開催し、初期、二次、三次救急医療に関する情報を、二次救急医療機関と共有し、市内の円滑な救急医療提供体制の構築を図っているため					
目標値の設定根拠・算出方法	救急告示病院連絡会開催予定回数（年2回）						

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	救急医療対策事業	事業番号	110-173
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)			
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
			決算		決算		決算		予算		予算要求		
		事業費 (a)		246,948		503,614		405,983		381,913		421,410	
		国支出金		0		0		0		0		0	
		府支出金		16,949		16,798		16,800		16,798		16,868	
		市債		0		0		0		0		0	
		その他 ()		36,903		36,302		36,692		36,686		36,353	
		受益者負担金(使用料、手数料等)		0		0		0		0			
一般財源		193,096		450,514		352,491		328,429		368,189			
事業費の内訳										(単位：千円)			
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源
		適正受診ポスター印刷費		R4	予算	0	0	旅費		R4	予算	14	14
				R5	予算	100	100			R5	予算	14	14
		土地借上料		R4	予算	5,956	5,956	消耗品費		R4	予算	19	19
				R5	予算	5,956	5,956			R5	予算	27	27
		周産期緊急医療体制整備事業負担金		R4	予算	4,789	4,789	役務費 通信運搬費 筆耕翻訳料		R4	予算	83	83
				R5	予算	4,789	4,789			R5	予算	170	170
		性暴力被害者支援ネットワーク協力医療機関支援負担金		R4	予算	300	300	研修会等参加負担金		R4	予算	1	1
				R5	予算	300	300			R5	予算	1	1
		堺市救急医療事業団運営補助金		R4	予算	370,537	317,053	その他		R4	予算	214	214
				R5	予算	410,034	356,813			R5	予算	19	19
債務負担行為										(単位：千円)			
15	期間		R ~ R				要求額						

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	救急医療体制維持のため、救急医療事業団等救急医療事業を行う団体に対し補助金を交付
	R5	救急医療体制維持のため継続実施
	R6以降	救急医療体制維持のため継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	救急医療体制の維持に必要な費用負担である。初期急病診療を実施する公益財団法人堺市救急医療事業団への補助金交付額は、新型コロナウイルス感染症の影響による診療収入の減少に伴い増大しているが、患者数の動向を見ながらサービス低下が起こらない範囲での診療体制の縮小も考慮しており、適切な積算（要求）となっている。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計		要求区分		その他	
		事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名		堺市立病院機構運営費負担事業		事業番号	
担当部署名		健康福祉 局 健康 部		健康医療政策 課	

I. 基本情報

事業の位置付け										
1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～		施策	(2) かかりつけ医から高度医療までつながる地域医療体制の充実		
			有	取組の方向性	①地域医療体制の充実					
		寄与 する KPI	有・無	指標名						
			無	現状値	－		目標値	－		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール			ターゲット	－		
			無	取組						
寄与 する KPI		有・無	指標名							
		無	現状値	－		目標値	－			
2	関連計画			地方独立行政法人堺市立病院機構中期計画（第3期）						
3	事業開始年度			平成 24 年度		点検年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			地方独立行政法人第85条等						
事業の概要										
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)			堺市						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)			地方独立行政法人堺市立病院機構						
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)			堺市立総合医療センターが、救急医療、小児周産期医療等の政策医療或不採算医療を安定的に提供することにより、公的使命を継続して果たすことで、市民の健康の維持及び増進に寄与する。						
8	事業内容 (目的を達成するための手段)			救急医療、小児周産期医療、感染医療等の政策医療、不採算医療の実施に係る経費について、地方独立行政法人法に基づき堺市立病院機構（35診療科・487床）に負担金を支出する。また、評価基準等の検討を行うため地方独立行政法人堺市立病院機構評価委員会を開催する。医療機器を購入、更新する経費の一部を法人に貸し付ける。						
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など									
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載									
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）			地方独立行政法人堺市立病院機構						
10	公民連携・協働事業									

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標 点検年度
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	延入院患者数	人	目標値	124,309	156,700	160,381	160,381
			実績値	127,232	156,700		
			達成率	102%	100%		
当該指標を選定した理由		市内唯一の三次救急医療機関として、重症患者（入院患者）を受け入れることが求められる役割であるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		堺市立病院機構が作成した第3期中期計画（令和2年度～令和5年度）及び年度計画に基づく					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	救急搬送応需率	%	目標値	78.0	79.0	79.0	
			実績値	78.4	79.0		
			達成率	101%	100%		
当該指標を選定した理由		救急患者の受入れ要請に応じた率であり、成果指標の達成に寄与するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		堺市立病院機構が作成した第3期中期計画（令和2年度～令和5年度）及び年度計画に基づく					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	堺市立病院機構運営費負担事業	事業番号	011-174
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト						(単位：千円)									
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度							
			決算		決算	決算	予算	予算要求							
		事業費 (a)		2,529,107	2,683,059	2,482,814	2,991,771	2,993,249							
		国支出金													
		府支出金													
		市債		99,500	197,700	290,900	696,000	660,000							
		その他（ 指定寄附金 ）		335	3,190	1,300	3,000	3,000							
		受益者負担金(使用料、手数料等)													
一般財源		2,429,272	2,482,169	2,190,614	2,292,771	2,330,249									
事業費の内訳								(単位：千円)							
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源		
		地方独立行政法人堺市立病院 機構評価委員会報酬		R4	予算	102	102	堺市立病院機構運営費負担金	R4	予算	2,292,473	2,292,473			
				R5	予算	357	357		R5	予算	2,329,421	2,329,421			
		普通旅費		R4	予算	3	3	堺市立総合医療センター指定寄 付金負担金	R4	予算	3,000	0			
				R5	予算	15	15		R5	予算	3,000	0			
		消耗品費(枠)		R4	予算	32	32	医療機器整備資金貸付金	R4	予算	696,000	0			
				R5	予算	40	40		R5	予算	660,000	0			
		通信運搬費（枠）		R4	予算	9	9		R4	予算					
				R5	予算	9	9		R5	予算					
		筆耕翻訳料（枠）		R4	予算	152	152		R4	予算					
R5	予算			407	407	R5	予算								
債務負担行為														(単位：千円)	
15	期間			R ～ R			要求額								

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	地方独立行政法人への移行・堺市立総合医療センター開院・評価委員会（業務実績評価・中期目標等の策定）
	R5	評価委員会（業務実績評価・中期目標等の策定）
	R6以降	評価委員会（業務実績評価・中期目標等の策定）

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	・総務省が発出する地方公営企業繰出金基準に準じ、救急医療等の政策医療或不採算医療に係る経費を要求する。 ・地方独立行政法人法及び堺市地方独立行政法人堺市立病院機構評価委員会条例に基づく評価委員会の開催に要する経費を要求する。なお、令和5年度については、次期中期目標及び中期計画の策定に係る意見聴取を要するため、開催回数が増え所要増が生じる。 ・医療機器の購入、更新に要する経費の一部を要求する。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	看護師確保対策事業			事業番号	011-176
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康医療政策
					課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～		施策	(1) 健康で長生きできる都市の実現		
			有	取組の方向性	③健康を支える地域社会の形成					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	—		ターゲット	—		
			無	取組	—					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画									
3	事業開始年度			昭和 60 年度		点検年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			看護師等の人材確保の促進に関する法律、堺市堺看護専門学校運営補助金交付要綱						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	一般社団法人 堺市医師会
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市内医療機関における看護師の量的・質的確保を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	・医療機関における看護師の量的・質的確保を図るため、堺市医師会が運営する看護専門学校への補助を行う。 ・同校の合計定員は240人（令和5年4月時点）で内訳は次のとおり。 看護第1学科：学年定員40人（修学年限3年） 看護第2学科：学年定員40人（修学年限3年）
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	一般社団法人 堺市医師会
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標	点検年度
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
卒業生市内就職率	%	目標値	50	50	50	50	
		実績値	32	40			
		達成率	64%	80%			
当該指標を選定した理由		市内医療機関の人材確保に寄与することを目標とするため。					
目標値の設定根拠・算出方法		市内就職率の母数は当該年度の卒業生（進学者等を除く）。					

活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	
卒業生数	人	目標値	114	114	76	
		実績値	104	110		
		達成率	91%	96%		
当該指標を選定した理由		本事業により養成された看護師等の人数を評価するため。				
目標値の設定根拠・算出方法		学年定員の95%を目標値とする。令和5年度の学年定員数は80人（令和4年度は、120人）。				

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	看護師確保対策事業	事業番号	011-176
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
				決算		決算		決算		予算		予算要求			
		事業費 (a)			39,900		39,900		39,900		39,900		37,382		
		国支出金													
		府支出金													
		市債													
		その他 ()													
		受益者負担金(使用料、手数料等)													
一般財源			39,900		39,900		39,900		39,900		37,382				
事業費の内訳												(単位：千円)			
14	事 業 費 内 訳	主な項目			年度		事業費	うち 一般財源	主な項目			年度		事業費	うち 一般財源
		堺看護専門学校運営補助金			R4	予算	39,900	39,900				R4	予算		
					R5	予算	37,382	37,382				R5	予算		
					R4	予算						R4	予算		
					R5	予算						R5	予算		
					R4	予算						R4	予算		
					R5	予算						R5	予算		
					R4	予算						R4	予算		
					R5	予算						R5	予算		
					R4	予算						R4	予算		
					R5	予算						R5	予算		
					R4	予算						R4	予算		
R5	予算						R5	予算							
債務負担行為														(単位：千円)	
15	期間			R ~ R				要求額							

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	昭和60年に補助金交付要綱を制定し、補助を開始。
	R5	准看護学科の廃止に伴い、補助金額を見直し。事業の継続実施。
	R6以降	事業の継続実施。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	准看護学科の廃止に伴い、補助金額を見直し。市内医療機関における看護師の量的・質的確保を図るため、事業の継続実施に必要な経費を要求する。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	医療計画推進事業				事業番号	011-178
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康医療政策	

I. 基本情報

事業の位置付け										
1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～		施策	(2) かかりつけ医から高度医療までつながる地域医療体制の充実		
			有	取組の方向性	③在宅医療と介護の連携強化					
		寄与 する KPI	有・無	指標名						
	無		現状値	—		目標値	—			
	堺市SDGs 未来都市 計画		施策との 関連	有・無	ゴール			ターゲット	—	
		無		取組						
寄与 する KPI		有・無	指標名							
		無	現状値	—		目標値	—			
2	関連計画			第7次大阪府医療計画(平成30年度～令和5年度)						
3	事業開始年度			平成 12 年度		点検年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			大阪府附属機関条例、大阪府保健医療協議会規則						
事業の概要										
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)			本庁						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)			大阪府附属機関条例に基づき設置された大阪府堺市保健医療協議会（令和3年度委員数50名）及び堺市内医療機関						
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)			大阪府との委託契約に基づき、第7次大阪府医療計画(平成30年度～令和5年度)の改定及び推進を図るため、協議を行う大阪府堺市保健医療協議会の運営支援及び堺市地域医療情報ネットワークシステムによる医療連携の推進を行う。						
8	事業内容 (目的を達成するための手段)			①第7次大阪府医療計画（堺市二次医療圏）に基づき、地域保健医療の向上を図るためその推進方策等に関し、必要に応じて会議を開催し、意見の取りまとめを行い大阪府へ報告を行う。 大阪府医療計画・・・医療法（昭和23年法律第205号）第30条の4に基づき、がん、脳卒中などの5疾病4事業及び在宅医療を中心に、医療提供体制、医療連携体制等の医療体制に関する大阪府の施策の方向を明らかにする行政計画。						
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など			②堺市地域医療情報ネットワークの市民周知用ポスターやパンフレットの作成及び配架を行う。 堺市地域医療情報ネットワーク運営協議会に対し、負担金を支出する。						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載									
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）			堺市地域医療情報ネットワーク運営協議会						
10	公民連携・協働事業									

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 点検年度 令和7年度
	①堺市地域医療情報ネットワークシステム閲覧施設数	施設	目標値	20	60	80	100
			実績値	48	－		
			達成率	240%	－		
	当該指標を選定した理由		第7次大阪府医療計画に示されている在宅医療の推進に寄与する指標であるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		堺市地域医療情報ネットワークシステム閲覧施設数					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	堺市地域医療情報ネットワーク運営協議会開催回数	回	目標値	7	3	2	
			実績値	4	－		
			達成率	57%	－		
	当該指標を選定した理由		堺市地域医療情報ネットワークシステムの運営に関する指標であるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		堺市地域医療情報ネットワーク運営協議会開催回数					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	医療計画推進事業	事業番号	011-178
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト						(単位：千円)									
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
			決算		決算		決算		予算		予算要求				
		事業費 (a)		472		504		1,938		2,059		2,059			
		国支出金		0		0						0			
		府支出金		472		214		318		520		520			
		市債		0		0		0		0		0			
		その他 ()		0		0		0		0		0			
		受益者負担金(使用料、手数料等)		0		0		0		0		0			
一般財源		0		290		1,620		1,539		1,539					
事業費の内訳												(単位：千円)			
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源		
		普通旅費		R4	予算	2	0	堺市地域医療情報ネットワーク運 営協議会負担金		R4	予算	1,539	1,539		
				R5	予算	2	0			R5	予算	1,539	1,539		
		消耗品費		R4	予算	42	0			R4	予算				
				R5	予算	42	0			R5	予算				
		通信運搬費		R4	予算	56	0			R4	予算				
				R5	予算	56	0			R5	予算				
		筆耕翻訳料		R4	予算	360	0			R4	予算				
				R5	予算	360	0			R5	予算				
		会場借上料		R4	予算	60	0			R4	予算				
				R5	予算	60	0			R5	予算				
		債務負担行為													
15	期間			R ~ R			要求額								

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	・大阪府堺市保健医療協議会（部会、病院連絡会を含む）の開催 ・堺市地域医療情報ネットワークシステムの運用及び普及啓発
	R5	・大阪府堺市保健医療協議会（部会、病院連絡会を含む）の開催、第7次大阪府医療計画の最終年度(令和5年度) 評価の実施、第8次医療計画の策定 ・堺市地域医療情報ネットワークシステムの運用及び普及啓発
	R6以降	・大阪府堺市保健医療協議会（部会、病院連絡会を含む）の開催 ・堺市地域医療情報ネットワークシステムの運用及び普及啓発

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	大阪府堺市保健医療協議会の運営は大阪府からの受託事業であるため、運営にかかる費用は全額委託料収入が充てられている。 堺市地域医療情報ネットワークシステムは、統一したシステムにより患者の診療情報を病院と診療所間で共有する仕組みであり、その普及啓発は市民の健康維持・増進に寄与することから、その費用の一部を負担することは有意義である。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	健康都市づくり関連事業（本庁）				事業番号	011-200
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康医療政策	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1) 健康で長生きできる都市の実現
			有	取組の方向性	③健康を支える地域社会の形成		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4
			有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画			
3	事業開始年度	平成 9 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市健康づくり推進市民会議運営事業補助金交付要綱、堺市健康づくり推進市民会議規約		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	堺市健康づくり推進市民会議					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市民					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市内各界の団体により構成される堺市健康づくり推進市民会議の運営及び事業を円滑に進め、市民の自発的な健康づくり運動の推進を図ることで、「健康都市・堺」の実現に寄与する。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	・堺市健康づくり推進市民会議は、平成8年7月のO157による学童集団下痢症の反省に立ち、市内各界の団体が参加して設立された団体であり、講演会などのイベント開催や食中毒予防リーフレットの配布などを通じて、民間団体としての立場から、市民の自発的な健康づくり運動を推進している。					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	堺市健康づくり推進市民会議					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 点検年度 令和7年度
	堺市健康づくり推進市民会議の主催・共催事業への参加者数	人	目標値	2,000	2,000	2,000	3,000
			実績値	2,187	2,000		
			達成率	109%	100%		
	当該指標を選定した理由	主催・共催する事業への参加により、市民の自発的な健康づくり運動への意識向上を図るため。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	堺市健康づくり推進市民会議の主催・共催事業数	件	目標値	2	2	2	
			実績値	2	2		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	市民の自発的な健康づくり運動への意識向上を図るための機会を確保するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	「O157追悼と誓いのつどい」「健康フェア」実施状況					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	健康都市づくり関連事業（本庁）	事業番号	011-200
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
				決算		決算		決算		予算		予算要求			
		事業費 (a)		6,100		1,549		910		6,000		6,000			
		国支出金													
		府支出金													
		市債													
		その他（ 健康生きがいづくり基金利子収入 ）		38		27		17		15		1			
		受益者負担金(使用料、手数料等)													
一般財源		6,062		1,522		893		5,985		5,999					
事業費の内訳												(単位：千円)			
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源		
		健康づくり推進市民会議運営事業補助金		R4	予算	6,000	5,985		R4	予算					
				R5	予算	6,000	5,999		R5	予算					
				R4	予算				R4	予算					
				R5	予算				R5	予算					
				R4	予算				R4	予算					
				R5	予算				R5	予算					
				R4	予算				R4	予算					
				R5	予算				R5	予算					
				R4	予算				R4	予算					
				R5	予算				R5	予算					
債務負担行為														(単位：千円)	
15	期間			R ~ R				要求額							

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	新型コロナウイルス感染防止のため、令和元年度から4年度まで事業の一部を中止またはWebで実施。
	R5	事業の継続実施
	R6以降	事業の継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	医療団体や農業・漁業分野、商工分野等の市内各界の団体により構成されている本市民会議について、各構成団体が様々な機会を捉えて市民の健康増進に向けて取り組むことで、健康を支える地域社会の形成に寄与するため、事業の継続に向けた要求を行う。
----	---------	--

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

特別会計					要求区分	その他
					事務事業分類	B 法定義務等事業
事務事業名	特定健康診査事業				事業番号	011-277
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康推進	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1) 健康で長生きできる都市の実現	
			有	取組の方向性	②生活習慣病の発症予防・重症化の予防			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	特定健康診査受診率			
			有	現状値	27.2%(2018年度)	目標値	50.0以上(2025年度)	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4	
			有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画			健康さかい2 1（第2次）、堺市特定健康診査等実施計画				
3	事業開始年度			平成 20 年度	点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			高齢者の医療の確保に関する法律、堺市特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する要綱				
事業の概要								
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)			本庁、各区（保健センター）				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)			堺市国民健康保険被保険者の40歳～74歳 約130,000人				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)			特定健康診査は、糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として、メタボリックシンドロームの該当者及び予備群を減少させるための特定保健指導を必要とする者を、的確に抽出するために実施する。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)			堺市国民健康保険被保険者の40歳～74歳に受診券を発行し、健診実施医療機関で次の項目を実施。 基本項目・・・診察（問診・身体計測・血圧測定等）、血液検査、尿検査 詳細項目（詳細検査実施基準のもと、医師の判断により実施）・・・心電図、眼底検査 自己負担金・・・無料				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など							
8	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載							
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）			一般社団法人堺市医師会				
10	公民連携・協働事業							

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 点検年度 令和7年度
	特定健康診査受診率	%	目標値	30.0	35.0	40.0	50.0
			実績値	27.8	35.0		
			達成率	93%	100%		
	当該指標を選定した理由		特定健康診査の結果から、生活習慣病の発症や重症化を予防するため。				
目標値の設定根拠・算出方法		健診受診者数/国民健康保険被保険者（40歳～74歳）					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	対象特性に合った個別勧奨通知による健診受診者数	カ所	目標値	3,500	9,600	10,600	
			実績値	5,172	12,251		
			達成率	148%	128%		
	当該指標を選定した理由		未受診者や不定期受診者を受診につなげ、生活習慣病の早期発見に努めるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		勧奨対象者のうち、勧奨実施後に健診受診した人数					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	特定健康診査事業	事業番号	011-277
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト						(単位：千円)									
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度							
			決算		決算	決算	予算	予算要求							
		事業費 (a)		417,538	386,171	413,374	534,736	545,134							
		国支出金													
		府支出金		417,538	386,171	413,374	534,736	545,134							
		市債													
		その他 ()													
		受益者負担金(使用料、手数料等)													
一般財源															
事業費の内訳								(単位：千円)							
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源				
		消耗品費 (枠)	R4	予算	156	0	特定健康診査委託料	R4	予算	448,221	0				
			R5	予算	156	0		R5	予算	456,002	0				
		印刷製本費 (枠)	R4	予算	485	0	委託料	R4	予算	72,385	0				
			R5	予算	485	0		R5	予算	74,837	0				
		通信運搬費 (枠)	R4	予算	447	0		R4	予算						
			R5	予算	447	0		R5	予算						
		手数料 (枠)	R4	予算	12,965	0		R4	予算						
			R5	予算	13,130	0		R5	予算						
		その他保険料 (枠)	R4	予算	77	0		R4	予算						
			R5	予算	77	0		R5	予算						
		債務負担行為												(単位：千円)	
		15	期間		R ~ R			要求額							

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	平成20年度の事業開始
	R5	継続実施
	R6以降	継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	特定健診事業に必要な経費として要求する。
----	---------	----------------------

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	骨粗しょう症検診			事業番号	011-179
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康推進
					課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～		施策	(1) 健康で長生きできる都市の実現		
			有	取組の方向性	②生活習慣病の発症予防・重症化の予防					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を		ターゲット	3.4		
			有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		

2	関連計画		健康さかい2 1（第2次）						
3	事業開始年度		平成 6 年度		点検年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 （根拠法令、条例等）		健康増進法、堺市骨粗しょう症予防検診事業の実施に関する要綱						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区（保健センター）					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	18歳以上の堺市民					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	骨密度が低下すると些細なことで骨折することが多くなり、治療で寝たきりの状態になることが多い。骨密度は20歳前後を境に低下していくため、若い世代（18歳時）より現状の骨密度を適切に把握し、健康指導・治療につなげることで市民の健康の保持増進を図る。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	各保健センターにおいて2か月に1回程度の検診日を設定し、市民が申し込みを行い骨密度の測定を実施。検診結果に応じて保健師又は管理栄養士がその場で指導を行う。 自己負担金：640円（市民税非課税世帯・生活保護世帯等の方は事前に保健センターへ申請すれば無料）					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標	点検年度
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
11 受診者数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	
		実績値	606	820			
		達成率	61%	82%			
当該指標を選定した理由		骨密度を適切に把握し、健康指導・治療につなげることで市民の健康の保持増進を図るため。					
目標値の設定根拠・算出方法		令和元年度実績を基準とし、受診者数増加を目標とする。(延べ人数)					

活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	
12 骨粗しょう症予防検診の実施回数	回	目標値	42	41	41	
		実績値	42	41		
		達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由		検診受診の機会を適切に確保するため。				
目標値の設定根拠・算出方法		保健センターにおいて、2か月に1回の検診実施を目標とする。				

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	骨粗しょう症検診	事業番号	011-179
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
			決算		決算		決算		予算		予算要求				
		事業費 (a)		1,286		1,178		1,598		1,362		1,370			
		国支出金		186		180		100		190		161			
		府支出金													
		市債													
		その他 ()													
		受益者負担金(使用料、手数料等)													
一般財源		1,100		998		1,498		1,172		1,209					
事業費の内訳												(単位：千円)			
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源		
		消耗品費 (枠)		R4	予算	434	434			R4	予算				
				R5	予算	434	434			R5	予算				
		印刷製本 (枠)		R4	予算	23	23			R4	予算				
				R5	予算	23	23			R5	予算				
		超音波骨密度測定装置保守業務		R4	予算	824	634			R4	予算				
				R5	予算	832	671			R5	予算				
		その他使用料及び賃借料 (枠)		R4	予算	81	81			R4	予算				
				R5	予算	81	81			R5	予算				
				R4	予算					R4	予算				
R5	予算					R5	予算								
債務負担行為														(単位：千円)	
15	期間			R ~ R				要求額							

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	平成6年度から事業開始 平成28年度から超音波法を用いた超音波骨評価装置を順次導入
	R5	継続実施
	R6以降	継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	骨粗しょう症予防検診の事業実施に必要な経費を要求する。
----	---------	-----------------------------

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

				要求区分	その他
一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	成人歯科検診事業			事業番号	011-180
担当部署名	健康福祉	局	健康部	部	健康推進課

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1) 健康で長生きできる都市の実現
			有	取組の方向性	①健やかな生活習慣の形成		
		堺市SDGs 未来都市 計画	寄与 する KPI	有・無	指標名		
	無			現状値	－	目標値	－
	施策との 関連		有・無	ゴール			
			無	取組			
寄与 する KPI	有・無	指標名					
	無	現状値	－	目標値	－		
2	関連計画			堺市歯科口腔保健推進計画、堺市健康増進計画			
3	事業開始年度			平成 8 年度	点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			健康増進法 歯科口腔保健の推進に関する法律、堺市歯科口腔保健推進条例			
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)			本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)			満30歳・35歳・40歳・50歳・60歳・70歳、71歳・72歳・73歳・74歳の堺市民と堺市民で75歳以上の生活保護受給者 120,614人(令和4年3月末 年齢別人口113,378人・令和4年3月末 75歳以上の生活保護受給者7,236人)			
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)			生活習慣の改善への意識を高め、市民主体の健康づくりの実践へ結びつけることにより、市民がいつまでも食えることを 楽しめるよう、生涯にわたる口腔の健康を維持することを目的とする。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段)			疾患の早期発見により、歯科治療における市民の負担を軽減し、また、歯みがき指導を同時に受けることにより、歯周病 を予防し、生涯にわたる口腔の健康を維持する。そのために、歯周病や口腔機能に関する検診の機会を提供し、かかり つけ歯科医での定期的な受診につなげる。			
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など			成人歯科検診では、歯周疾患を予防し、歯の喪失を防ぎ、口腔機能を保つため、歯周疾患予防に重点を置いた口腔 内診査と、歯みがき指導を行う。検診は、自己負担500円で、市内の協力歯科医院で受診することができる。 また、71歳以上の市民には、食べる・話す等の口腔機能の衰えである「オーラルフレイル」の症状が見え始める傾向がある ことから、口腔機能チェックを含めた歯科検診を、自己負担500円で実施する。			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）			一般社団法人堺市歯科医師会、一般社団法人狭山美原歯科医師会			
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度
			目標値	2.1	2.1	1.8
			実績値	0.9	1.0	
	成人歯科検診受診率	%	達成率	41%	47%	
			当該指標を選定した理由			
			目標値の設定根拠・算出方法			
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度
			目標値	2,544	2,409	2,076
			実績値	1,040	1,200	
	成人歯科検診受診者数	人	達成率	41%	50%	
			当該指標を選定した理由			
			目標値の設定根拠・算出方法			

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	成人歯科検診事業	事業番号	011-180
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト						(単位：千円)									
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度						
			決算		決算	決算	予算		予算要求						
		事業費 (a)		15,300		13,513	6,291	5,978		5,994					
		国支出金		367		450	360	575		466					
		府支出金						0							
		市債						0							
		その他 ()						0							
		受益者負担金(使用料、手数料等)						0							
一般財源		14,933		13,063	5,931	5,403		5,528							
事業費の内訳										(単位：千円)					
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源				
			R4	予算	27	27		R4	予算						
		消耗品費		R5	予算	27	27	R5	予算						
		印刷製本費		R4	予算	159	159	R4	予算						
				R5	予算	159	159	R5	予算						
		通信運搬費		R4	予算	63	63	R4	予算						
				R5	予算	63	63	R5	予算						
		成人歯科検診委託料		R4	予算	5,729	5,154	R4	予算						
				R5	予算	5,745	5,279	R5	予算						
				R4	予算			R4	予算						
		R5	予算			R5	予算								
債務負担行為												(単位：千円)			
15	期間		R ~ R				要求額								

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	令和元年度から30歳、35歳、40歳、50歳、60歳、70歳に加え、受診対象者を拡充(71歳～74歳、75歳以上の生活保護受給者)。
	R5	継続実施
	R6以降	継続実施（国が示す、国民皆歯科検診の動向も注視する）

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	国が示す歯周病検診の対象は40,50,60,70歳であるが、歯周病予防を推進するため、堺市では歯周病を早期に発見するため、30歳35歳と、誤嚥性肺炎予防や嚥下機能の低下予防に効果があると考え、政令市でも先駆的にオーラルフレイルを予防するための口腔機能チェックを含んだ検診を71歳以上の方に実施し保健指導することで、健康寿命の延伸に寄与すると考える。財政状況も厳しく受益者負担の観点から令和2年度末で71歳以上の無償化を終了したため、受診者数は減少となっている。受診行動から堺市歯科口腔保健推進計画の目標値にある「かかりつけ歯科医を持つ割合（現状値76.2%→目標値80%）」（高齢期の現状値81.4%）が低いことから、検診受診からかかりつけ歯科医にもつなげる。引き続き受診勧奨の啓発が必要と考える。
----	---------	--

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	健康診査・保健指導事業				事業番号	011-181
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康推進	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1) 健康で長生きできる都市の実現
			有	取組の方向性	②生活習慣病の発症予防・重症化の予防		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画		無	現状値	—	目標値	—
		施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4
		寄与するKPI	有・無	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進		
			有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	健康さかい2 1（第2次）		
3	事業開始年度	平成 20 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 （根拠法令、条例等）	健康増進法、堺市健康診査及び保健指導の実施に関する要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	生活保護受給者等、特定健康診査の対象とならない4 0 歳以上の市民 約20,000人					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	健康診査の結果からメタボリックシンドローム該当者及び予備群を判別し保健指導を実施することで、重大な疾病に至るのを未然に防ぐ。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	各区保健福祉総合センター生活支援課の担当者より周知を行い、受診を希望する者に受診票を発行し、健診実施医療機関で次の項目を実施。 基本項目・・・診察（問診・身体計測・血圧測定等）、血液検査、尿検査 詳細項目（詳細検査実施基準のもと、医師の判断により実施）・・・心電図、眼底検査 自己負担金・・・無料					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	一般社団法人堺市医師会					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 令和7年度
	健康診査受診率	%	目標値	3.0	3	3	3
			実績値	1.0	2		
			達成率	33%	70%		
	当該指標を選定した理由	健康診査の結果から保健指導を実施し、重大な疾病に至るのを未然に防ぐため。					
12	目標値の設定根拠・算出方法	生活保護受給者の健診受診率（健診受診者数/生活保護受給者数）					
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	実施医療機関数	カ所	目標値	393	393	393	
			実績値	393	393		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	健診受診の機会を適切に確保するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	市内検診実施協力医療機関数					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	健康診査・保健指導事業	事業番号	011-181
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)			
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
			決算		決算		決算		予算		予算要求		
		事業費 (a)		3,780		2,355		2,094		3,855		3,864	
		国支出金		1,098		1,171		597		1,042		1,042	
		府支出金											
		市債											
		その他 (基金繰入)		45		26		38		46		46	
		受益者負担金(使用料、手数料等)											
一般財源		2,637		1,158		1,459		2,767		2,776			
事業費の内訳										(単位：千円)			
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源		
		消耗品費 (枠)	R4	予算	4	4		R4	予算				
			R5	予算	4	4		R5	予算				
		印刷製本費 (枠)	R4	予算	84	84		R4	予算				
			R5	予算	84	84		R5	予算				
		健康診査 (枠)	R4	予算	3,570	2,528		R4	予算				
			R5	予算	3,579	2,537		R5	予算				
		保健指導 (枠)	R4	予算	151	151		R4	予算				
			R5	予算	151	151		R5	予算				
甲状腺検査費用負担金 (枠)	R4	予算	46	0		R4	予算						
	R5	予算	46	0		R5	予算						
債務負担行為										(単位：千円)			
15	期間		R ~ R				要求額						

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	平成20年度の医療制度改革により事業開始
	R5	継続実施
	R6以降	継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	いずれの医療保険にも加入していない者、及び東日本大震災による堺市への避難者に対しての健康増進事業として継続実施。
----	---------	--

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

				要求区分	その他
一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	健康推進・がん対策推進事業			事業番号	011-187
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康医療推進課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～		施策	(1) 健康で長生きできる都市の実現		
			有	取組の方向性	②生活習慣病の発症予防・重症化の予防					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—			目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を		ターゲット	3.4		
			有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—			目標値	—	
2	関連計画			健康さかい21（第2次）						
3	事業開始年度			平成 20 年度		点検年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 （根拠法令、条例等）			健康増進法、堺市がん対策推進条例						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		本庁、各区（保健センター）				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		堺市民【がん検診の対象者は、20歳以上の女性（20.8万人）、40歳以上の男性（9万人）】				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		がんについて疾患の理解とがん検診の必要性を理解し、自発的に予防行動が取れ、定期的に検診を受ける市民を増やす				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載		・普及啓発：受診案内の送付、各区保健センターの保健師等が地域へ出向き、がんに対する健康教育を実施するなど啓発、NPO法人や患者団体と連携した啓発活動（地域に出向いて健康教育やイベント時の啓発活動） ・受診者の分析を行いつつ、郵送やSMS送信等での受診勧奨を行う。 ・ポータルサイトでの充実を図り、市民に広く周知し、医療機関検索などの利便性を高め、受診しやすい環境づくりを行う。				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標	点検年度
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
11 受診率 ・目標値は職域受診含む（国の目標） ・実績値は本市検診の受診分のみ	%	目標値	50.0	50.0	50.0		50.0
		実績値	14.1	14.7			
		達成率	28%	29%			
当該指標を選定した理由		がん検診受診率を増加させることで、市民の健康の保持増進を図るため。					
目標値の設定根拠・算出方法		受診者数／対象者数					
12 活動指標(成果を上げるための手段) ・コール・リコール実施件数 ・R4より個別受診勧奨件数	人		実績	実績見込み	目標		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度		
		目標値	10,000	40,000	60,000		
		実績値	31,337	50,000			
	達成率	313%	125%				
当該指標を選定した理由		定期的な受診者の増加及び新規受診者の獲得のため。					
目標値の設定根拠・算出方法		受診勧奨対象者数（ハガキ勧奨及びSMS受診勧奨）					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名		健康推進・がん対策推進事業				事業番号		011-187	
-------	--	---------------	--	--	--	------	--	---------	--

Ⅲ. 令和5年度予算要求額											
事業コスト (単位：千円)											
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
			決算		決算		決算		予算		予算要求
		事業費 (a)	67,461		59,901		44,198		24,586		17,509
		国支出金	3,473		5,694		2,078		5,787		2,566
		府支出金									
		市債									
		その他 (がん対策事業指定寄附金)					500				80
		受益者負担金(使用料、手数料等)									
		一般財源	63,988		54,207		41,620		18,799		14,863
事業費の内訳 (単位：千円)											
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		附属機関委員報酬 (枠外)	R4	予算	215	215	通信運搬費 (枠)	R4	予算	440	440
			R5	予算	215	215		R5	予算	440	440
		謝礼金 (枠)	R4	予算	117	117	受診勧奨通知電算事後処理業 務	R4	予算	11,575	6,288
			R5	予算	162	162		R5	予算	13,844	11,278
		普通旅費 (枠)	R4	予算	31	31	委託料	R4	予算	11,408	10,908
			R5	予算	20	20		R5	予算	2,050	2,050
		消耗品費 (枠)	R4	予算	332	332	その他使用料及び賃借料	R4	予算	95	95
			R5	予算	252	252		R5	予算	20	20
		印刷製本費 (枠)	R4	予算	373	373		R4	予算		
R5	予算		506	426	R5	予算					
債務負担行為 (単位：千円)											
15		期間	R ~ R				要求額				

Ⅳ. スケジュール		
経過及び今後の展開		
16	R4まで	がん対策推進委員会を平成25年度から開催
	R5	・継続実施 ・がん対策施策の推進
	R6以降	継続実施

Ⅴ. 要求のポイント	
17	要求のポイント ・検診の受診率向上及び市民の健康推進に関する事業継続に必要な経費を要求する。 特に今年度は、健（検）診の受診勧奨の強化、がん予防の取り組みに関する啓発等に注力していく。 ・SMSを用いた受診勧奨を強化

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計				要求区分		その他
				事務事業分類		A 一般事務事業
事務事業名				事業番号		011-194
担当部署名		健康福祉	局	健康	部	健康推進
						課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～		施策	(1) 健康で長生きできる都市の実現		
			有	取組の方向性	③健康を支える地域社会の形成					
		寄与 する KPI	有・無	指標名						
			無	現状値	－		目標値	－		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を		ターゲット	3,4		
			有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進					
		寄与 する KPI	有・無	指標名						
			無	現状値	－		目標値	－		
2	関連計画			堺市健康増進計画、堺市食育推進計画（第3次）、堺市歯科口腔保健推進計画 他						
3	事業開始年度			平成 19 年度		点検年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 （根拠法令、条例等）			地域保健法、健康増進法						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、協定企業、健康づくりパートナー登録事業所、民間事業所等
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市内の企業の健康増進実施事業者等を通じて就労している市民
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	協定企業や民間事業者等と働く世代の課題を共有し、健康増進活動に取り組む市民を増やすことを目的としている。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	・市における健康課題を共有するため、協定企業との会議を開催する。(年1回以上) ・協定企業等と連携した啓発等の取組を実施する。 ・健康づくりに取り組む堺市健康づくりパートナー登録事業所に対し、健康づくりに関する情報提供を行う。(年2回以上) ・事業所に対し、健康に関するパネルの貸し出しやリーフレットなどの資料を配布する。(随時) ・事業所とともに、健康に関する健康講座や健康相談を開催する。(随時)
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先(委託・補助金・負担金等)	
10	公民連携・協働事業	協定企業の顧客を対象とした各種健診の啓発やアンケートの実施、協定企業によるウォーキング等イベントの開催

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標	点検年度
				令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和7年度
11	健康づくりパートナー登録事業所数	事業所	目標値	200	210	220		230
			実績値	177	180			
			達成率	89%	86%			
		健康づくりパートナー登録事業に賛同する事業所の増加は就労している市民の健康づくりにつながるため。						
		年度末現在で登録があり、資料等送付している事業所数						
12		単位		実績	実績見込み	目標		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	企業との取組件数	件	目標値	10	10	10		
			実績値	7	7			
			達成率	70%	70%			
	企業と連携した取組は広く青壮年層の市民に対する周知啓発につながると考えるため。							
	協定企業等と連携して取り組んだ件数。							

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	地域・職域連携事業	事業番号	011-194
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)			
13	財 源 内 訳	項 目		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
				決算		決算		決算		予算		予算要求	
		事業費（a）		273		123		288		210		343	
		国支出金		135		61		143		104		171	
		府支出金											
		市債											
		その他（											

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	健康増進に関する情報提供については、これまでの郵送のみから電子メール等も併用するなどによる周知について、一部メールアドレスを収集することができた。 必要な情報提供を行いながら、広く従業員の健康増進事業の展開と連携について検討実施していく予定である。
	R5	連携企業等と連携した啓発事業等の実施について検討している。
	R6以降	より多くの企業と課題を共有し、改善に向けた連携に取り組んでいく。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	本事業の国要綱に基づき、企業と課題を共有し、現在の取組の継続だけではなく、企業の協力を得て、効果的に発信できる機会をふやす。
----	---------	--

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	成人保健指導事業				事業番号	011-198
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康推進	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1) 健康で長生きできる都市の実現
			有	取組の方向性	②生活習慣病の発症予防・重症化の予防		
		寄与するKPI	有・無	指標名			
	堺市SDGs 未来都市計画		無	現状値	－	目標値	－
		施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4
		寄与するKPI	有・無	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進		
			有・無	指標名			
			無	現状値	－	目標値	－

2	関連計画	堺市健康増進計画、堺市食育推進計画、堺市歯科口腔保健推進計画 他		
3	事業開始年度	平成 14 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	健康増進法、食育基本法、歯科口腔保健の推進に関する法律、堺市歯科口腔保健推進条例		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市民(40-74歳の市民 約40万人) のうち保健センター事業参加者等					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市民が、健康な生活習慣の重要性に対する関心と理解を深め、生涯にわたって自らの健康状態を自覚するとともに、健康の推進に努め、質の高い日常生活が得られることをめざす。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	・健康に関する普及啓発 市民や保健医療関係団体等とも連携・協働し、食や運動、禁煙、歯と口の健康、各種健(検)診の受診等、健康に関する知識の普及啓発を行う。 ・各種教室・健康教育や健康相談の開催 市民の健康増進を図るため、各種の教室や健康教育や健康相談を開催する。また、運動や学習など市民が主体的に健康増進活動に取り組めるようグループの育成やグループ間交流や学習会等を行う。堺市口腔保健センターにおいて、歯科検診・相談、歯磨き指導等を行い歯科口腔保健の推進を図る。 ・訪問指導 療養上の保健指導が必要な方やその家族に対して、保健師等が訪問して必要な指導を行う。					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	一般社団法人堺市歯科医師会					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 令和7年度
	特定健康診査受診率	%	目標値	30.0	35.0	40.0	50.0
			実績値	27.8	35.0		
			達成率	93%	100%		
	当該指標を選定した理由	生活習慣病予防において、自らの健康を管理する習慣を持ち、早期発見・早期治療が大切であるとしているため。健康管理の一つを指標とした。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	健康教育の実施回数	回	目標値	400	600	700	
			実績値	318	530		
			達成率	80%	88%		
	当該指標を選定した理由	生活習慣病の危険因子と関連する生活習慣や、健やかな生活習慣の形成に向けた内容で実施しているため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	実績値から算出。					

令和4年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	成人保健指導事業	事業番号	011-198
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
				決算		決算		決算		予算		予算要求			
		事業費 (a)		16,125		9,359		8,517		7,311		8,009			
		国支出金		1,942		865		1,967		2,136		2,342			
		府支出金													
		市債													
		その他（ 生きがいづくり基金 ）		1,700		1,700									
		受益者負担金(使用料、手数料等)													
		一般財源		12,483		6,794		6,550		5,175		5,667			
事業費の内訳										(単位：千円)					
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費		うち 一般財源	主な項目		年度		事業費		うち 一般財源
				R4	予算	1,284	820				R4	予算	2,900	2,322	
		医師報酬		R5	予算	1,264	814	委託料	R5	予算	2,900	2,422			
				R4	予算	1,069	674		会場等借上料	R4	予算	104	70		
		謝礼金		R5	予算	1,967	1,226	R5		予算	58	22			
				普通旅費		R4	予算	8	6	役務費	R4	予算	94	63	
		需用費				R5	予算	61	41		R5	予算	139	91	
						R4	予算	1,652	1,020	負担金、補助及び交付金	R4	予算	200	200	
						R5	予算	1,420	851		R5	予算	200	200	
						R4	予算				R4	予算			
						R5	予算				R5	予算			
債務負担行為										(単位：千円)					
15	期間			R ～ R				要求額							

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	各事業は、テーマ別に検討するのではなく、成人期の市民の健康増進を目的に、食、運動、禁煙、歯と口の健康、各種健診の受診等横断的に検討したうえで、事業を推進している。
	R5	市民の健康課題の解決に向け、必要な健康教育・健康相談等を行う他、必要に応じてハイレスクアプローチを実施する。
	R6以降	市民の健康課題の解決に向け、ハイレスクアプローチなど必要な取組を実施する。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	これまでは、コロナ禍ということもあり、対面での健康教育や健康相談等の実施も限られていたが、血圧測定をはじめ、対面で実測等により、生活習慣病の発症のリスクを確認しながら、必要な支援を実施してきた。 次年度は、疾病予防等をテーマとしたハイレスクアプローチの取組などもさらに充実したいと考えている。 集合型での事業の実施等により、仲間とともに生活習慣病予防に取り組む機会の提供につながるよう、対面・集合という手段も活用し、必要な支援を提供していきたいと考えている。
----	---------	--

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

				要求区分		その他				
一般会計						事務事業分類		A 一般事務事業		
事務事業名		斎場管理運営				事業番号		011-203		
担当部署名		健康福祉		局	健 康		部	斎 場		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
		寄与するKPI	有・無	取組の方向性			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—	目標値	—
		寄与するKPI	有・無	現状値	—	ターゲット	—

2	関連計画			
3	事業開始年度	明治 42 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	墓地、埋葬等に関する法律 堺市立斎場条例 堺市立斎場条例施行規則		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	出先機関
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	斎場利用者（約 1 万人）
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市内唯一の公営火葬場として、常にご遺族の心情に寄り添いつつ故人の尊厳を第一にした火葬業務を実施する。 また、年々増加する火葬需要に対応するとともに、災害時等においても適切に斎場運営を実施する。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	○ 火葬場・式場等使用の受付及び火葬運営業務 - 火葬部門 火葬炉 1 7 基、補助炉 1 基 - 待合部門 待合室 1 2 室（洋室2室、和室 1 0 室） - 主な斎場使用料金（堺市民の場合） 火葬場 大人（12歳以上） 2 0 , 0 0 0 円/1体 小人（12歳未満） 1 4 , 0 0 0 円/1体 式場（通夜、告別式） 大式場 7 0 , 0 0 0 円/1回 小式場（通夜、告別式） 5 0 , 0 0 0 円/1回 ○ 各種証明等の発行業務 - 改葬許可 - 分骨証明及び火葬証明
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	太陽築炉工業（株）外
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 令和7年度
	年間火葬件数 (改葬遺骨を除く)	件	目標値	-	-	-	-
			実績値	9,377	9,499		
			達成率	-	-		
	当該指標を選定した理由	主要業務であり、実火葬数による積算で客観性があるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	指標が火葬件数であることから、目標値を設定し達成率を測ることに適さない。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	斎場施設稼働日数	日	目標値	364	364	364	
			実績値	364	364		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	実火葬数の成果のためには、斎場施設の安定的な稼働が必要であるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	斎場は、1 月 1 日を除き施設稼働するため。					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	斎場管理運営	事業番号	011-203
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)							
13	財 源 内 訳	項 目		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度					
				決算		決算		決算		予算		予算要求					
		事業費 (a)		349,344		352,630		455,994		356,649		581,551					
		国支出金															
		府支出金															
		市債								600		41,700					
		その他 ()		658		639		706		623		673					
		受益者負担金(使用料、手数料等)		208,249		269,005		287,870		230,724		254,690					
一般財源		140,437		82,986		167,418		124,702		284,488							
事業費の内訳										(単位：千円)							
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費		うち 一般財源		主な項目		年度		事業費		うち 一般財源	
		斎場火葬運営業務		R4	予算	97,991	34,262	斎場監視カメラ設備更新工事		R4	予算	1,000	350				
				R5	予算	97,991	47,936			R5	予算	83,000	40,603				
		施設等修繕料（斎場定期補修）		R4	予算	57,100	19,965	電気使用料（枠）		R4	予算	44,851	15,682				
				R5	予算	57,100	27,933			R5	予算	75,503	36,935				
		斎場警備業務		R4	予算	24,420	8,538	ガス使用料（枠）		R4	予算	37,602	13,148				
				R5	予算	24,420	11,946			R5	予算	118,517	57,977				
		斎場清掃等業務		R4	予算	15,930	5,570	水道使用料（枠）		R4	予算	7,078	2,475				
				R5	予算	21,090	10,317			R5	予算	8,493	4,155				
		斎場防災設備更新工事		R4	予算	500	175	その他（旅費、消耗品費など）		R4	予算	70,177	24,537				
				R5	予算	21,000	10,273			R5	予算	74,437	36,414				
債務負担行為										(単位：千円)							
15	期間			R 5 ～ R 21				要求額			330,675						

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	火葬炉定期補修工事 斎場防災設備更新工事設計 斎場監視カメラ設備更新工事設計
	R5	火葬炉定期補修工事 斎場防災設備更新工事 斎場監視カメラ設備更新工事
	R6以降	火葬炉定期補修工事

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	火葬炉定期点検に伴う補修工事 斎場防災設備更新工事 斎場監視カメラ設備更新工事
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	精神科救急医療体制整備事業				事業番号	011-204
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	精神保健	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画 2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(2) かかりつけ医から高度医療までつながる地域医療体制の充実
			有	取組の方向性	①地域医療体制の充実		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画			
3	事業開始年度	平成 18 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 精神科救急医療体制整備事業実施要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	休日夜間における緊急的な精神科医療を必要とする精神障害者等
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	休日夜間における精神科救急医療体制を整備し、迅速に適切な医療を提供することにより、疾患の重篤化の軽減を図る（大阪府、大阪市との共同事業）。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	・休日夜間において、緊急的な精神科医療を必要とする精神障害者等が地域で適切な救急医療が受けられるよう、大阪府内全域で体制及び病床を確保（平日夜間は7床、休日は12床） ・緊急に受診が必要となる本人やその家族等、又は救急隊や警察からの受診依頼に関し、病院との調整を行う。 ・精神科の受診、入院等の医療相談に対応し、当該精神障害者等の症状の緩和が図れるよう適切に対応するとともに、必要に応じて医療機関の紹介や受診指導を行う。 ・精神科と一般科の両方の治療を要する患者への対応が可能となるよう、一般科の救急病院と精神科の救急病院が連携できる休日夜間の合併症支援システムを併設。
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	大阪府
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標	点検年度
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
精神科救急医療機関対応件数	件	目標値	—	—	—	—	—
		実績値	114	107			
		達成率	—	—			
当該指標を選定した理由	休日夜間において緊急的な精神科医療を必要とする精神障害者等に対し、地域で適切な救急医療が提供できているか測るため。						
目標値の設定根拠・算出方法	精神科救急受診相談のうち、救急受診が必要と判断され、受診又は入院した件数であり、目標の設定にはなじまない。						

活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	
精神科救急受診相談件数	件	目標値	—	—	—	
		実績値	174	173		
		達成率	—	—		
当該指標を選定した理由	休日夜間において、精神科救急の相談が入る窓口であり、全体数を把握するため。					
目標値の設定根拠・算出方法	精神科救急医療情報センターにおける精神科救急の受診相談件数であり、目標の設定にはなじまない。					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	精神科救急医療体制整備事業	事業番号	011-204
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
				決算		決算		決算		予算		予算要求			
		事業費 (a)		46,133		52,025		0		52,884		53,594			
		国支出金		20,904		19,899				21,761		22,039			
		府支出金		0		0									
		市債		0		0									
		その他 ()		0		0									
		受益者負担金(使用料、手数料等)		0		0									
一般財源		25,229		32,126				31,123		31,555					
事業費の内訳										(単位：千円)					
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費		うち 一般財源	主な項目		年度		事業費		うち 一般財源
		医師報酬		R4	予算	557	557	精神障害者24時間医療相談事業負担金	R4	予算	9,256	4,629			
				R5	予算	809	809		R5	予算	9,256	4,628			
		普通旅費（枠）		R4	予算	8	8		R4	予算					
				R5	予算	10	10		R5	予算					
		通信運搬費（枠）		R4	予算	40	40		R4	予算					
				R5	予算	44	44		R5	予算					
		精神科救急病院・受付窓口体制確保事業負担金		R4	予算	26,301	12,067		R4	予算					
				R5	予算	26,497	12,158		R5	予算					
		緊急措置診察24時間体制運営事業負担金		R4	予算	16,722	13,822		R4	予算					
R5	予算			16,978	13,906	R5	予算								
債務負担行為										(単位：千円)					
15	期間			R ～ R			要求額								

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	平成18年に堺市の政令指定都市移行に伴い、大阪府、大阪市と共同して現在の大阪府精神科救急医療体制を実施してきた。平成27年8月には、一般科の救急医療機関と精神科の救急医療機関の連携の仕組みを組み込んだ新たな精神科救急医療体制（精神科合併症支援システム）を構築し、課題であった両方の治療を要する患者への一定の対応が可能となった。
	R5	大阪府の精神科救急医療体制は、安定的な運用ができており、継続して実施する。
	R6以降	精神科救急医療体制の整備は政令指定都市として実施しなければならない事業であり、大阪府、大阪市との共同事業として実施することによってより効率的な運営を行うことができている。今後も関係機関等で検証し、より有効に機能する精神科救急医療体制を確立していく。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	精神科救急医療体制については、地域の医療機関が休診となる休日や夜間に、緊急的な精神科医療を必要とする精神障害者等が利用できるシステムであり、大阪府・大阪市と連携し、安定的な運用ができています。このシステムを整備し、迅速に適切な医療を提供することにより、疾患の重篤化の軽減を図ることができており、地域医療体制の充実に寄与するものである。 要求にあたっては、発生件数の予測が難しいが、年度による大きな増減はないため、実績によって必要経費を計上している。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	こころの健康づくり推進事業				事業番号	011-206
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	精神保健	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現
			有	取組の方向性	①相談支援体制の充実・強化		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画			
3	事業開始年度	昭和 49 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	こころの健康に悩みを持つ市民及びその家族等					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	精神疾患やその治療についての相談指導に応じるとともに、市民のこころの健康保持・増進や精神疾患に関する相談等を実施することでメンタルヘルスの維持向上を図る。また、精神障害者の社会復帰・社会参加の促進を目的とする。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	保健センターにおいて精神保健福祉士や保健師が相談に個別に応じ、必要に応じて関係機関の紹介や連絡調整を行う。 相談内容・・・医療の受診や社会復帰、アルコール関連問題等 ・精神科医師による定例の精神保健福祉相談を実施（予約制）					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 令和7年度
	精神科医療に関する相談延件数	件	目標値	—	—	—	—
			実績値	12,066	12,000		
			達成率	—	—		
	当該指標を選定した理由	こころの健康維持、社会復帰のためには、適切な医療につながる事が重要であるため。					
12	目標値の設定根拠・算出方法	市民等からの相談対応延件数のうち精神科医療に関する相談延件数であり、目標の設定にはなじまない。					
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	精神保健福祉相談延件数	件	目標値	—	—	—	
			実績値	28,519	28,500		
			達成率	—	—		
	当該指標を選定した理由	あらゆるこころの健康に関する相談に対応し、必要に応じて適切な支援につなげることができる機会となるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	市民等からのこころの健康に関する相談対応延件数であり、目標の設定にはなじまない。					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	こころの健康づくり推進事業	事業番号	011-206
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)				
13	財 源 内 訳	項 目		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
				決算		決算		決算		予算		予算要求		
		事業費 (a)			13,988		12,453		14,560		18,133		17,979	
		国支出金			0		0		0		0		0	
		府支出金			0		0		0		0		0	
		市債			0		0		0		0		0	
		その他 ()			0		0		0		0		0	
		受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0		0		0		0	
一般財源			13,988		12,453		14,560		18,133		17,979			
事業費の内訳										(単位：千円)				
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源	
		医師報酬		R4	予算	7,560	7,560	消耗品費 (枠)		R4	予算	645	645	
				R5	予算	7,560	7,560			R5	予算	565	565	
		会計年度任用職員報酬		R4	予算	6,850	6,850	印刷製本費 (枠)		R4	予算	13	13	
				R5	予算	6,891	6,891			R5	予算	60	60	
		期末手当 (会計年度任用職員)		R4	予算	1,443	1,443	精神障害者地域交流運動会負担金		R4	予算	271	271	
				R5	予算	1,441	1,441			R5	予算	216	216	
		謝礼金 (枠)		R4	予算	354	354	精神保健福祉セミナー開催負担金		R4	予算	173	173	
				R5	予算	277	277			R5	予算	138	138	
		費用弁償 (通勤費)		R4	予算	623	623	その他		R4	予算	201	201	
R5	予算			598	598	R5	予算			233	233			
債務負担行為										(単位：千円)				
15	期間			R ~ R			要求額							

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	各区の保健センターにおいて、こころの健康に関する相談等を受けており、精神保健福祉士や保健師が医療の受診や社会復帰、アルコール関連問題等に関する相談に個別に応じ、必要に応じて関係機関の紹介や連絡調整を行っている。
	R5	継続して実施する。また、精神科医療は対象範囲を広げており、その中で公的機関には医療分野、福祉分野共に処遇困難事例への関わりが望まれている。そのため、こころの健康センター等による研修の受講等によって相談員の対応能力の向上を図っていく。
	R6以降	専門職である精神保健福祉士や保健師が相談対応し、必要に応じて精神科医師による相談を活用することで、未治療者や治療中断者に対するアプローチなど、より専門性の高い医療相談対応を行っており、今後も継続して実施していく。また、研修等によるスキル向上とあわせて、困難事例に対応する相談員が孤立することがないよう、連絡会議などで各保健センターの状況や課題を収集・共有し、解決策を検討していく。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	ストレスの多い現代社会において、思春期の不登校、摂食障害、壮年期のうつ病、職場不適応、アルコール依存症、老年期の認知症など、こころの健康はあらゆる年代で深刻な問題となっている。また、昨今の地震や豪雨などの自然災害による被害、新型コロナウイルス感染症による外出抑制など、不安やストレスを抱えての生活が長期化することによって心の不調をきたす場合があり、心のケアの必要性は高まっている。 本市では、長年、精神保健福祉士を常勤職員として配置し相談支援体制を構築してきた中で知識や経験が積み重ねられており、多岐にわたる相談内容に対し、精神保健福祉士が精神科医師や保健師と共に多角的な見地から有効性・実効性のある支援について検討し実施している。また、家庭訪問や受診同伴等のアウトリーチ支援や危機介入など積極的な支援を行うことで、必要な医療につなぎ、精神障害者の社会復帰を促進している。 要求にあたっては、事業を継続実施するものとし、内容を精査した上で必要な経費を計上している。なお、各保健センター等の要求も含めた金額となっている。
----	---------	--

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	精神障害者保健福祉手帳交付事業				事業番号	011-207
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	精神保健	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現
			有	取組の方向性	③障害者の社会参加の促進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画			
3	事業開始年度	平成 18 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	精神障害のために長期にわたり日常生活または社会生活での制約がある方					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	精神障害者保健福祉手帳の交付を受けられた方が、税制上の優遇措置や公的施設の施設使用料の減免など、各方面の協力により提供される各種のサービスを利用することで、精神障害者の社会復帰・社会参加の促進につながることを目的とする。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けようとする方の申請に基づき、精神科医師による手帳交付判定審査会にて審査をし、承認したうえで精神障害者保健福祉手帳を交付する。 ・精神障害のために障害年金や特別障害者給付金を受給している場合はその事実をもって精神障害者保健福祉手帳を交付する。					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 令和7年度
	申請受理から精神障害者保健福祉手帳発行までの日数	日	目標値	30	30	30	30
			実績値	36	34		
			達成率	83%	88%		
	当該指標を選定した理由	手帳所持者数の増加に伴って処理件数が増えているが、事務効率等により、迅速な発行めざすため。					
12	目標値の設定根拠・算出方法	標準処理日数に対する各年度の申請受理から精神障害者保健福祉手帳発行までの平均日数					
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	精神障害者保健福祉手帳関係申請等処理件数	件	目標値	—	—	—	
			実績値	7,067	7,232		
			達成率	—	—		
	当該指標を選定した理由	手帳発行にかかる一連の事務処理が必要な件数であるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	新規、更新（2年毎）及び等級変更等の申請の受理件数であり、目標の設定にはなじまない。					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	精神障害者保健福祉手帳交付事業	事業番号	011-207
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)							
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度						
			決算		決算		決算		予算		予算要求						
		事業費 (a)		5,112		5,559		5,932		4,593		5,067					
		国支出金		0		0		618		0		0					
		府支出金		0		0		0		0		0					
		市債		0		0		0		0		0					
		その他 ()		0		0		0		0		0					
		受益者負担金(使用料、手数料等)		0		0		0		0		0					
一般財源		5,112		5,559		5,314		4,593		5,067							
事業費の内訳										(単位：千円)							
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費		うち 一般財源		主な項目		年度		事業費		うち 一般財源	
		会計年度任用職員報酬		R4	予算	1,661	1,661	通信運搬費 (枠)		R4	予算	893	893				
				R5	予算	1,652	1,652			R5	予算	1,018	1,018				
		期末手当 (会計年度任用職員)		R4	予算	353	353	市単独扶助費 (枠)		R4	予算	1,010	1,010				
				R5	予算	338	338			R5	予算	1,326	1,326				
		普通旅費 (通勤費)		R4	予算	156	156			R4	予算						
				R5	予算	156	156			R5	予算						
		消耗品費 (枠)		R4	予算	62	62			R4	予算						
				R5	予算	48	48			R5	予算						
		印刷製本費 (枠)		R4	予算	458	458			R4	予算						
				R5	予算	529	529			R5	予算						
		債務負担行為										(単位：千円)					
15	期間		R ~ R				要求額										

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	精神障害者保健福祉手帳の所持者数は年々増加しており、その申請等の件数増加に対応するため、送達、審査、発行等事務処理の流れを整理し、効率化を図り、さらに発行頻度を増やして手帳発行までに要する期間を短縮してきた。また、令和4年度からは、更新時の手帳カバー配付を見直すことにより、環境への配慮と、今後の予算増加を抑制した。
	R5	引き続き、年々増加する申請件数に対応し、手帳発行までに要する期間を維持もしくはさらに短縮するために効率化を図る。 令和7年度のシステムの標準化に向け、検討を行う。
	R6以降	令和7年度のシステムの標準化にかかる準備を行う。また、令和7年度までに申請のオンライン化を実施するための準備を行う。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	精神障害者保健福祉手帳の所持者数は、令和3年度末で10,890人となっており、当事業開始の平成18年度4月（3,302人）と比較すると、約3倍以上と大幅に増加している。 令和4年度から、手帳カバーの配付見直しを行い、今後の予算増加を抑制するなど、できる限り現在の予算から増えないよう工夫しているものの、申請件数が年々増加しているため、手続に伴う印刷費や通信運搬費などの必要経費について、昨年度予算より増額して計上している。
----	---------	--

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計				要求区分		その他	
				事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名				自殺対策事業		事業番号	
担当部署名				健康福祉		局	
				健康		部	
				精神保健		課	

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(6)暮らしを支えるセーフティネットの構築	
			有	取組の方向性	③自殺者ゼロに向けた取組の推進			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）			
			有	現状値	14.9(2019年度)	目標値	14.2(2025年度)	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4	
			有	取組	自殺未遂者へのフォローアップ支援			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画			堺市自殺対策推進計画（第3次）				
3	事業開始年度			平成 18 年度	点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			自殺対策基本法、自殺総合対策大綱				
事業の概要								
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)			本庁、各区、出先機関				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)			自殺を考えるほどの悩みを抱えている方、自殺未遂者、自死遺族及び市民				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)			誰もが自らのいのちを大切にできるように、きめ細かな見守りで支えあうまちをめざす。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)			令和4年3月に策定した堺市自殺対策推進計画（第3次）に基づき事業を実施。 ①悩みを抱える人の身近な相談役となるゲートキーパー研修(こころの健康センター) ②再度の自殺企図予防のための自殺未遂者への相談支援（こころの健康センター） ③新型コロナこころのフリーダイヤル事業（大阪府、大阪市との共同事業） ④自殺予防週間及び自殺対策強化月間における普及啓発事業 ⑤堺市自殺対策連絡懇話会の開催（年1回） ⑥自殺対策庁内連絡会の開催（年2回）				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など							
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載							
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）							
10	公民連携・協働事業							

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定								
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 点検年度 令和7年度	
	自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）の低下	人	目標値	16.6	16.0	15.4	13.7	
			実績値	17.6	16.3			
			達成率	106%	102%			
	当該指標を選定した理由	堺市基本計画2025で、「自殺者ゼロに向けた取組の推進」を掲げており、一人でも自殺者を減らし、自殺死亡率を低下させることが重要であるため。※当該年の自殺死亡率（人口動態統計）の確定値は翌年9月頃に判明し、指標とするにはタイムラグが生じるため、前年の確定値を当該年の実績値としている。						
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市基本計画2025のKPIに準ずる						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度		
	新型コロナこころのフリーダイヤル事業（相談件数）	件	目標値	200	200	200		
			実績値	210	200			
			達成率	105%	100%			
	当該指標を選定した理由	新型コロナウイルス感染症への対応が長期化することに伴い、市民の不安やストレスの増大、生活への影響による自殺リスクの増加が懸念され、専用電話相談窓口を開設することによる市民に対するこころのケアが重要となるため。（※令和2年10月より、大阪府、大阪市と共同事業として開始）						
	目標値の設定根拠・算出方法	フリーダイヤル受電件数						

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	自殺対策事業	事業番号	011-209
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)			
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
			決算		決算		決算		予算		予算要求		
		事業費 (a)		9,660		12,037		4,981		3,660		3,286	
		国支出金		115		117		804		850		72	
		府支出金		6,440		7,182		2,886		2,350		2,183	
		市債								0			
		その他 ()								0			
		受益者負担金(使用料、手数料等)								0			
一般財源		3,105		4,738		1,291		460		1,031			
事業費の内訳										(単位：千円)			
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源
		医師報酬		R4	予算	23	23	通信運搬費 (枠)		R4	予算	115	64
				R5	予算	23	23			R5	予算	134	75
		謝礼金 (枠)		R4	予算	266	134	デザイン作成等委託料 (枠)		R4	予算	200	100
				R5	予算	133	67			R5	予算	-	-
		普通旅費 (枠)		R4	予算	70	70	新型コロナウイルス感染症に対応した自殺 予防電話相談体制整備事業負担金		R4	予算	2,853	0
				R5	予算	70	70			R5	予算	2,680	670
		消耗品費 (枠)		R4	予算	7	6			R4	予算		
				R5	予算	54	30			R5	予算		
		印刷製本費 (枠)		R4	予算	126	63			R4	予算		
				R5	予算	192	96			R5	予算		
		債務負担行為										(単位：千円)	
15	期間		R ~ R				要求額						

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	「堺市自殺対策推進計画（第2次）」（平成29年3月策定）に沿った自殺対策事業を推進。 令和2年11月に自殺対策に関する市民等意識調査を実施。令和3年度には、期間終了となる第2次計画を見直し、「堺市自殺対策推進計画（第3次）」を策定した。 ※令和2年度の組織編成に伴い自殺対策事業の一部がこころの健康センターに移管され、令和3年度からは予算の再編がなされている。 令和4年3月に策定した「堺市自殺対策推進計画（第3次）」に沿った事業を推進。自殺総合対策大綱の改定および国の情勢に合わせて、自殺対策事業の効果検証、進捗管理を行いながら、計画の目標およびKPI達成に向けて事業を効果的に実施する。
	R5	「堺市自殺対策推進計画（第3次）」（計画期間：令和4～8年度）に沿った事業を推進。 令和4年度より引き続き、国等の情勢に合わせ、自殺対策事業の効果検証、進捗管理を行いながら、計画の目標およびKPI達成に向けて事業を効果的に実施する。
	R6以降	「堺市自殺対策推進計画（第3次）」（計画期間：令和4～8年度）に沿った事業を推進。 毎年市民意識調査等による効果検証および進捗管理を実施し、適宜事業見直しを行いながら、計画の目標およびKPI達成に向けて事業を効果的に実施する。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	○令和4年度に続き、新型コロナウイルス感染症に関連したメンタルヘルスの問題に対応した事業を実施する。 ○「堺市自殺対策推進計画（第3次）」に沿いながら、令和4年度に引き続きターゲット層に合わせてICTを活用した普及啓発事業を実施する。 ○相談機関一覧の啓発ポスター及びカードを令和4年度に引き続き作成し、より広く知ってもらうための周知先を検討し実施する。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

				要求区分	その他
一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	依存症対策推進事業			事業番号	011-275
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	精神保健課

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(6) 暮らしを支えるセーフティネットの構築
			有	取組の方向性	⑤依存症対策の強化		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.5
			有	取組	薬物、アルコール、ギャンブル、ゲームなどの依存症対策の推進		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
2	関連計画		堺市依存症地域支援計画				
3	事業開始年度		令和 2 年度		点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		アルコール健康障害対策基本法、ギャンブル等依存症対策基本法、依存症対策総合支援事業実施要綱				
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		本庁、こころの健康センター、各区				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		依存症で悩む市民、及び依存症となるリスクのある市民、その他市民				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		依存症に関する知識の普及啓発を行い、予防もしくは重症化の予防をめざすと同時に、状況やニーズに応じて、依存症に関する相談、受診、自助グループの利用ができるようになる環境づくりをめざす。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載		令和4年3月に策定した堺市依存症地域支援計画に基づき事業を実施。 ①依存症対策庁内委員会の実施（年2回程度） ②堺市依存症対策推進懇話会の実施（年2回程度） ③依存症治療拠点、専門医療機関選定 ④ギャンブル等依存症問題啓発週間における啓発事業（大阪府、大阪市との共同事業） ⑤アルコール依存症関連問題啓発週間における啓発事業 ⑥行政機関及び医療機関向けの依存症に関する研修事業（大阪府、大阪市との共同事業） ⑦依存症対策地域連携（情報共有等）の実施				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）		大阪府				
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	定性的な成果目標					
	堺市依存症地域支援計画に基づく、連携の場の創設および効果的な啓発事業等の実施					
	当該目標を設定した理由	依存症対策を効果的に推進するには、堺市依存症地域支援計画に基づき、依存症対策推進懇話会で 有識者等の意見を聴取しながら、連携の場の創設および啓発事業等を実施する必要があるため。				
	目標に対する実績	依存症対策推進懇話会（年2回）。依存症啓発事業（年2回以上）。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度
	依存症支援者研修事業受講者数	人	目標値	20	20	20
			実績値	5	20	
			達成率	25%	100%	
	当該指標を選定した理由	社会資源として医療機関や相談機関を増加させ、市民が受診や相談をしやすくすることが必要であるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	研修受講者数				

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	依存症対策推進事業	事業番号	011-275
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)			
13	財 源 内 訳	項 目		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
				決算		決算		決算		予算		予算要求	
		事業費 (a)		0		1,964		3,057		625		642	
		国支出金		0		966		1,510		291		300	
		府支出金		0		0							
		市債		0		0							
		その他 ()		0		0							
		受益者負担金(使用料、手数料等)		0		0							
一般財源		0		998		1,547		334		342			
事業費の内訳										(単位：千円)			
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源
				R4	予算	385	194			R4	予算		
		謝礼金 (枠)		R5	予算	217	109			R5	予算		
				普通旅費 (枠)		R4	予算			39	39	R4	予算
				R5	予算	39	39			R5	予算		
				消耗品費 (枠)		R4	予算			2	1	R4	予算
				R5	予算	27	14			R5	予算		
				通信運搬費 (枠)		R4	予算			9	5	R4	予算
				R5	予算	15	8			R5	予算		
				依存症対策事業負担金 (啓発、 研修)		R4	予算			190	95	R4	予算
		R5	予算	344	172			R5	予算				
債務負担行為										(単位：千円)			
15	期間			R ~ R			要求額						

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	令和2年2月に「依存症対策庁内連絡会」、令和2年6月に「堺市依存症対策推進懇話会」を設置し、「堺市依存症地域支援計画」の策定（令和4年3月予定）に向け、令和2年11月に市民意識調査、令和3年5月にインタビュー調査を実施した。令和3年度は庁内連絡会年3回、懇話会を年4回開催し、有識者などの意見を反映しながら計画策定に向けた準備を進め、令和4年3月に堺市依存症地域支援計画を策定した。令和4年度は、計画に沿って地域連携のきっかけとなる堺市域版OACミニフォーラムの実施や、ICTを活用しかつ庁内関係部署との啓発での連携を図り、様々な場面において啓発を実施する。
	R5	「堺市依存症地域支援計画」（計画期間：令和4～8年度）に沿って、依存症対策の事業を推進。堺市域版OACミニフォーラムを実施し地域連携の場（情報共有等）の創設を検討しつつ、地域の依存症支援機関をはじめとした関係機関の連携強化および依存症への理解促進を図る。引き続き、ICTや様々な媒体を活用した普及啓発の実施や、庁内及び関係機関と連携し幅広い啓発を実施する。
	R6以降	「堺市依存症地域支援計画」（計画期間：令和4～8年度）に沿って、依存症対策の事業を推進。市民意識調査等による効果検証、進捗管理を実施しながら事業を適宜見直し、事業を効果的に実施する。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	○「堺市依存症地域支援計画」（令和4年3月策定）に沿って事業を実施。地域連携が依存症対策推進のポイントとなるため、まずは交流がメインとなる堺市域版OACミニフォーラムを実施し、これをきっかけとして市域の地域連携の場（情報共有等）を計画期間内に新たに創設する。 ○国通知（依存症対策総合支援事業実施要綱）により、依存症支援者研修の実施が義務付けられ、依存症治療拠点機関である大阪精神医療センターへ委託、①医療機関職員向け、②関係機関向け研修を大阪府・大阪市と共同で実施。令和5年度も依存症に対応できる医療機関等の拡充に向け継続実施予定である。 ○平成30年10月5日施行の「ギャンブル等依存症対策基本法」で定められているギャンブル等依存症問題啓発週間（5月14日～20日）における啓発活動に関し、より効率的かつ効果的な啓発とするため、令和2年度より共同事業に位置付けて実施。令和5年度も若年層をターゲットとしたWeb動画の配信や交通広告などへの掲載を予定。
----	---------	--

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

				要求区分	その他
一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	こころの健康センター地域支援事業			事業番号	011-212
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	こころの健康センター課

I. 基本情報

事業の位置付け										
1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～		施策	(6)暮らしを支えるセーフティネットの構築		
			有	取組の方向性	③自殺者ゼロに向けた取組の推進					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）					
			有	現状値	14.9(2019年度)			目標値	14.2(2025年度)	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を		ターゲット	3.4		
			有	取組	自殺未遂者へのフォローアップ支援					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—			目標値	—	
2	関連計画			堺市自殺対策推進計画（第3次）						
3	事業開始年度			平成 18 年度		点検年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第六条（精神保健福祉センターの設置） 自殺対策基本計画 自殺総合対策大綱						
事業の概要										
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)			出先機関						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)			自殺を考えるほどの悩みを抱えている方、自殺未遂者、自死遺族 精神保健福祉に係る業務に従事する職員、精神障害者の家族会・当事者会 など						
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)			誰もが自らのいのちを大切にできるように、きめ細やかな見守りで支えあうまちをめざす						
8	事業内容 (目的を達成するための手段)			精神保健福祉法第六条及び、自殺対策推進計画（第3次）に基づき、事業を実施。 1.自殺対策事業 ①自殺未遂者支援及び自死遺族相談 ②ゲートキーパー研修の実施 ③自殺予防週間及び自殺対策強化月間における「こころの電話相談」の対応時間の拡充						
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など			2.性暴力被害に遭われた女性のための心理カウンセリング事業 3.地域関係機関への技術指導、教育研修 4.調査研究						
8	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載									
	9 主な支出先（委託・補助金・負担金等）									
10	公民連携・協働事業									

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 点検年度 令和7年度
	専門相談、教育研修、技術支援、普及啓発など各事業の利用者数	人	目標値	3,100	6,000	6,000	6,000
			実績値	6,657	6,500		
			達成率	215%	108%		
	当該指標を選定した理由	市民の利用状況が実施事業の活性度等の活動状況を示す指標と考えたため。					
目標値の設定根拠・算出方法	令和2年度組織再編により、自殺未遂者支援はこころの健康センターで実施、令和3年度より実績として計上。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	専門相談、教育研修、技術支援、普及啓発など各事業の実施回数	回	目標値	400	600	600	
			実績値	624	600		
			達成率	156%	100%		
	当該指標を選定した理由	複雑困難な相談支援や研修、技術支援、普及啓発等の窓口、機会を地域に十分提供していくことが、地域の精神保健福祉の向上につながる指標になると考えるため。					
目標値の設定根拠・算出方法	令和2年度組織再編により、自殺未遂者支援はこころの健康センターで実施、令和3年度より実績として計上。						

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	こころの健康センター地域支援事業	事業番号	011-212
-------	------------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
			決算		決算		決算		予算		予算要求				
		事業費 (a)		30,930		15,853		18,702		12,986		12,797			
		国支出金		12,989		2,656		2,715		482		482			
		府支出金		221		144		4,993		5,593		5,389			
		市債													
		その他 ()													
		受益者負担金(使用料、手数料等)													
一般財源		17,720		13,053		10,994		6,911		6,926					
事業費の内訳												(単位：千円)			
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源		
		医師報酬		R4	予算	471	273	普通旅費		R4	予算	48	23		
				R5	予算	471	273			R5	予算	115	57		
		会計年度任用職員報酬		R4	予算	9,175	4,892	通信運搬費		R4	予算	177	148		
				R5	予算	8,995	4,851			R5	予算	177	148		
		期末手当（会計年度任用職員）		R4	予算	970	324	印刷製本費		R4	予算	80	27		
				R5	予算	924	309			R5	予算	80	27		
		謝礼金		R4	予算	1,022	534	消耗品費		R4	予算	238	159		
				R5	予算	1,079	648			R5	予算	171	82		
		費用弁償（通勤費）		R4	予算	530	318	その他（会場借上料等）		R4	予算	275	213		
R5	予算			532	320	R5	予算			253	211				
債務負担行為														(単位：千円)	
15	期間			R ~ R			要求額								

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	自殺未遂者支援、自死遺族相談、性暴力被害カウンセリング、こころの電話相談の継続 ※令和2年度に予算事業再編を行い、ひきこもり支援に係る予算を本事業から新規設置した「ひきこもり支援事業」へ再編。 ※令和2年度の組織編成に伴い自殺対策事業の一部がこころの健康センターに移管され、令和3年度予算から当該事業費分を含む。 ※令和3年度に各種専門相談を行う会計年度任用職員に係る事業費について、相談内容の比率に基づき、一部、本事業から依存症対策支援事業予算に再編。
	R5	事業の継続実施
	R6以降	事業の継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	自殺未遂者への支援や自殺の要因軽減のための支援体制の強化、 自死遺族相談、性暴力被害者へのカウンセリング、こころの電話相談の継続実施に必要な経費を要求する。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計				要求区分		その他	
				事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名				依存症対策支援事業		事業番号	
担当部署名				健康福祉		011-269	
				局	健康	部	こころの健康センター
				課			

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(6) 暮らしを支えるセーフティネットの構築	
			有	取組の方向性	⑤依存症対策の強化			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.5	
			無	取組	薬物、アルコール、ギャンブル、ゲームなどの依存症対策の推進			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—
2	関連計画							
3	事業開始年度			平成 30 年度	点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第六条（精神保健福祉センターの設置）				
事業の概要								
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)			出先機関				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)			依存症で悩む市民、依存症支援に携わる関係者、依存症当事者・家族会				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)			依存症で悩む市民、携わる関係者を支援することで、依存症からの回復をめざす。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			精神保健福祉法第六条に基づき、事業を実施。 1.専門相談事業 ①薬物依存症相談 薬物依存症に悩む本人、その家族に対し、個別相談の実施。治療回復プログラム、家族教室を行う。 ②ギャンブル等依存症相談 ギャンブル等依存症に悩む本人、その家族に対し、個別相談の実施。回復プログラム、家族教室を行う。 2.地域関係機関への技術指導、教育研修 依存症に関わる支援者に対し、研修を実施し、依存症に対する知識を深める機会を提供する。 3.組織育成事業 家族会、当事者会と連携し、依存症に悩む当事者及び家族を支える支援を行う。				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）							
10	公民連携・協働事業							

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 点検年度 令和7年度
	専門相談、教育研修、技術支援、普及啓発など各事業の実施回数	回	目標値	1,000	1,100	1,100	1,100
			実績値	1,896	1,400		
			達成率	190%	127%		
	当該指標を選定した理由	依存症支援において、まず支援の場、機会、窓口を十分に提供していくことが最重要であるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	専門相談、教育研修、技術支援及び関係機関との調整会議など各事業の実施回数の合計					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	専門相談、教育研修、技術支援、普及啓発など各事業の利用者数	人	目標値	500	500	500	
			実績値	325	320		
			達成率	65%	64%		
	当該指標を選定した理由	市民の利用状況が実施事業の活性度等の活動状況を示す指標と考えるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	相談件数、教育研修、技術支援及び関係機関との調整会議など各事業の利用者数の合計					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	依存症対策支援事業	事業番号	011-269
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト						(単位：千円)									
13	財 源 内 訳	項 目		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
				決算		決算		決算		予算		予算要求			
		事業費 (a)		1,303		1,270		1,180		8,964		8,928			
		国支出金		998		477		536		4,308		4,373			
		府支出金													
		市債													
		その他 ()													
		受益者負担金(使用料、手数料等)													
一般財源		305		793		644		4,656		4,555					
事業費の内訳													(単位：千円)		
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源		
		医師報酬		R4	予算	672	336	費用弁償（通勤費）		R4	予算	312	156		
				R5	予算	672	336			R5	予算	312	156		
		会計年度任用職員報酬		R4	予算	5,971	2,987	旅費		R4	予算	0	0		
				R5	予算	6,004	3,002			R5	予算	65	33		
		期末手当（会計年度任用職員）		R4	予算	1,238	620	消耗品費		R4	予算	135	70		
				R5	予算	1,218	609			R5	予算	165	82		
		謝礼金		R4	予算	276	139	研修会等参加負担金		R4	予算	173	173		
				R5	予算	276	139			R5	予算	179	179		
費用弁償（その他）		R4	予算	24	12	その他（通信運搬費等）		R4	予算	163	163				
		R5	予算	24	12			R5	予算	13	7				
債務負担行為														(単位：千円)	
15	期間		R ～ R				要求額								

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	平成30年度から、ギャンブル等依存症相談の開始及び依存症支援者研修の実施。薬物依存症相談の継続。 ※R4年度に各種専門相談を行う会計年度任用職員に係る事業費について、相談内容の比率に基づき、地域支援事業から本事業予算に再編。
	R5	事業の継続実施
	R6以降	事業の継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	地域の依存症相談拠点として、回復プログラムや家族教室の実施、医師等の専門職による講義の受講の機会を提供する等、効率的な支援に必要な予算を要求する。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計				要求区分		その他
				事務事業分類		A 一般事務事業
事務事業名				事業番号		011-276
担当部署名				健康福祉 局 健康 部		こころの健康センター 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(6)暮らしを支えるセーフティネットの構築	
			有	取組の方向性	④ひきこもりへの取組			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4	
			無	取組	ひきこもり対策の推進			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—

2	関連計画	第4次堺市地域福祉計画		
3	事業開始年度	令和 2 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第六条（精神保健福祉センターの設置）		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	出先機関					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	ひきこもりの状態にある本人やその家族 ひきこもり者と関わる可能性のある地域の支援者、支援機関					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	いわゆる「8050問題」といわれるひきこもりの高齢化・長期化は、喫緊の支援が必要である。ひきこもり者やその家族が「相談機関があること」、「相談につながる事が重要であること」を知ることが重要である。関係機関の理解と協力、連携により、ひきこもりに悩んでいる市民が相談機関を知り、また、支援者がひきこもり支援を行えるよう知識を深め、ひきこもりからの回復を目指す。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	精神保健福祉法第六条に基づき、事業を実施。 1.専門相談事業（ひきこもり相談） ①ひきこもりに悩む本人、その家族に対し、個別相談の実施 ②本人グループワーク、家族教室の実施 2.地域関係機関への技術指導、教育研修 ひきこもりに関わる支援者に対し、研修を実施し、ひきこもりに対する知識を深める機会を提供する。					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 令和7年度
	専門相談、教育研修、技術支援、普及啓発など各事業の実施回数	回	目標値	500	500	500	500
			実績値	571	600		
			達成率	114%	120%		
	当該指標を選定した理由	ひきこもり支援において、まず支援の場、機会、窓口を十分に提供していくことが最重要であるため。					
12	目標値の設定根拠・算出方法	市民及び関係機関に対して実施したひきこもり支援の相談、技術支援などの回数。					
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	専門相談、教育研修、技術支援、普及啓発など各事業の利用者数	人	目標値	4,000	4,000	4,000	
			実績値	4,424	4,200		
			達成率	111%	105%		
	当該指標を選定した理由	市民の利用状況が実施事業の活性度等の活動状況を示す指標と考えるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	市民及び関係機関に対して実施したひきこもり支援の相談、技術支援などの利用（参加）者の合計。					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	ひきこもり支援事業	事業番号	011-276
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
			決算		決算		決算		予算		予算要求				
		事業費 (a)		0		14,756		15,547		16,521		16,462			
		国支出金				7,371		7,898		8,240		8,203			
		府支出金													
		市債													
		その他 ()													
		受益者負担金(使用料、手数料等)													
一般財源				7,385		7,649		8,281		8,259					
事業費の内訳													(単位：千円)		
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費		うち 一般財源	主な項目		年度		事業費		うち 一般財源
		会計年度任用職員報酬		R4	予算	11,343	5,671	消耗品費	R4	予算	345	173			
				R5	予算	11,346	5,674		R5	予算	300	150			
		特別職非常勤職員報酬		R4	予算	672	336	その他保険料	R4	予算	107	54			
				R5	予算	672	336		R5	予算	95	48			
		期末手当（会計年度任用職員）		R4	予算	2,396	1,198	通信運搬費	R4	予算	26	13			
				R5	予算	2,393	1,197		R5	予算	16	9			
		謝礼金		R4	予算	886	443	その他使用料及び賃借料	R4	予算	5	3			
				R5	予算	886	446		R5	予算	5	3			
		費用弁償（通勤費）		R4	予算	624	312	その他（研修会等参加負担金等）	R4	予算	117	78			
R5	予算			624	312	R5	予算		125	84					
債務負担行為													(単位：千円)		
15	期間		R ~ R				要求額								

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	新規相談については、40歳以上のひきこもりを中心とした相談を実施 （若年層のひきこもりは、子ども青少年局が主導して実施）
	R5	事業の継続実施
	R6以降	事業の継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	相談者数の増加、「8050問題」などの複雑化、ひきこもり問題の長期化などに対応するため、ひきこもり地域支援センター（こころの健康センター内）の体制維持に必要な経費を要求する。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	試験検査に関する調査研究				事業番号	011-256
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	衛生研究所	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		—
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—		—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		—
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画			
3	事業開始年度	昭和 39 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	平成9年3月14日 厚生省発健政第26号厚生事務次官通知「地方衛生研究所の機能強化について」		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	衛生研究所					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	ウイルス検査、細菌検査、食品検査、環境検査の各事業に関連する15分野					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	上記対象分野について地域保健対策の効果的な推進、公衆衛生の向上及び増進、科学的かつ技術的中核として関係行政部局と緊密な連携をとり、調査研究成果を還元することにより、市民の安全・安心な生活を守る。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	最新の検査方法の検討や検査技術を応用する課題に関して、当所単独での調査研究、あるいは他の地方衛生研究所、国立感染症研究所をはじめとした国立研究所等と連携をとり、共同で調査研究を実施する。					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 点検年度 令和7年度
	調査研究還元数（年報掲載、発表・報告等）	件	目標値	12	12	12	12
			実績値	11	12		
			達成率	92%	100%		
	当該指標を選定した理由	当該指標は本事務事業の実施状況を直接的に表すものであるため					
12	目標値の設定根拠・算出方法	各検査担当につき1件の年報掲載、2件の発表・報告等を実施する。					
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	調査研究実施数	件	目標値	16	16	16	
			実績値	13	16		
			達成率	81%	100%		
	当該指標を選定した理由	当該指標は本事務事業の成果を上げるための有意な手段であるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	検査担当正職員1名につき1件の調査研究を実施する。					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	試験検査に関する調査研究	事業番号	011-256
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
				決算		決算		決算		予算		予算要求			
		事業費 (a)			437		437		437		437		437		
		国支出金													
		府支出金													
		市債													
		その他 ()													
		受益者負担金(使用料、手数料等)													
一般財源			437		437		437		437		437				
事業費の内訳												(単位：千円)			
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源		
		需用費		R4	予算	437	437			R4	予算				
				R5	予算	437	437			R5	予算				
				R4	予算					R4	予算				
				R5	予算					R5	予算				
				R4	予算					R4	予算				
				R5	予算					R5	予算				
				R4	予算					R4	予算				
				R5	予算					R5	予算				
		R4	予算					R4	予算						
		R5	予算					R5	予算						
債務負担行為														(単位：千円)	
15	期 間			R ~ R				要 求 額							

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	感染症のまん延防止、健康被害の拡大防止には当該事業は必須である。令和元年度から令和4年度にかけては、新型コロナウイルス検査体制の確保と調査研究を両立させるため、一部の項目を重点的に実施するなど、事業の適正化を行った。また、一部の開催された学会・研究会について積極的に参加、発表するとともに、オンラインでの参加や紙上発表、年報などを活用し、可能な限り成果を還元することにより、全体を通して、最小限の資源投入で、高い費用対効果を維持した。
	R5	引き続き、全体を通して、資源投入を最小限としつつ、高い費用対効果を維持できる調査研究を実施し、市民の健康の安全・安心に貢献する。
	R6以降	引き続き、全体を通して、資源投入を最小限としつつ、高い費用対効果を維持できる調査研究を実施し、市民の健康の安全・安心に貢献する。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	衛生研究所において実施する調査研究は、最新の知見を用いた新規検査法の探索から、実態調査や精度管理まで多岐に実施しているが、これらの最終目標はいずれも市民の安全・安心を確保することとしており、事業目的の達成に対して大きく寄与しているものである。今後も感染症や食中毒、水質事故や農薬汚染など突発的な事象に対応するため、および日々の試験検査に精度よく結果を発出するため、最小の経費で最大の効果が得られる調査研究の実施に取り組む。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

				要求区分		その他	
一般会計				事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名				事業番号		011-215	
担当部署名		健康福祉	局	保健所	部	保健医療	課

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
2	関連計画						
3	事業開始年度			平成 16 年度	点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			医療法第6条の13			
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)			本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)			主に堺市民（患者及びその家族など）			
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)			医療に関する市民などからの相談に対し、迅速かつ適正に対応することにより、患者・家族等と市内医療機関等との信頼関係が構築された状態とすること。また、適切な対応を行うことにより、相談者が市内医療機関等に受診する際、安全で安心な体制を確保することを目的とする。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段)			月曜日から金曜日（祝日及び年末年始の休日を除く）の午前9時から12時、午後12時45分から16時30分までの時間帯で、医療相談窓口の専用回線にて専任の看護師が相談に応じている。電話による相談が基本だが、窓口等で面談での相談も予約制で実施。			
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 点検年度 令和7年度
	相談者の納得度の向上	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	94	95		
			達成率	94%	95%		
	当該指標を選定した理由		相談者の納得度の向上が、患者・家族等と医療機関等における信頼関係の構築及び安全で安心な体制の確保につながるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		相談に適切な対応を行い、全ての相談者が納得することが、患者・家族等と医療機関等における信頼関係					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	相談件数	件	目標値	—	—	—	
			実績値	805	409		
			達成率	—	—		
	当該指標を選定した理由		本事業は、医療に関する市民等からの相談に対応するものであるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		本事業は、窓口の開設時間を設定した上で、相談者の申出に応じて相談を受けるものであるため、数値目標					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	医療相談窓口運営事業	事業番号	011-215
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
				決算		決算		決算		予算		予算要求			
		事業費 (a)		5,216		5,195		5,232		5,230		5,249			
		国支出金													
		府支出金													
		市債													
		その他 ()													
		受益者負担金(使用料、手数料等)													
一般財源		5,216		5,195		5,232		5,230		5,249					
事業費の内訳														(単位：千円)	
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源		
		報酬		R4	予算	4,020	4,020			R4	予算				
				R5	予算	4,064	4,064			R5	予算				
		職員手当		R4	予算	855	855			R4	予算				
				R5	予算	830	830			R5	予算				
		費用弁償（通勤費）		R4	予算	350	350			R4	予算				
				R5	予算	350	350			R5	予算				
		普通旅費		R4	予算	3	3			R4	予算				
				R5	予算	3	3			R5	予算				
		消耗品費		R4	予算	2	2			R4	予算				
				R5	予算	2	2			R5	予算				
債務負担行為														(単位：千円)	
15	期間			R ~ R			要求額								

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	事業の継続実施
	R5	事業の継続実施
	R6以降	事業の継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	相談内容が多種多様化している中で、現状の体制を最低限維持した要求を実施。
----	---------	--------------------------------------

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

				要求区分	その他
一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	難病患者支援事業			事業番号	011-218
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	保健医療
					課

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
2	関連計画						
3	事業開始年度		平成 16 年度		点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		難病の患者に対する医療等に関する法律（難病法）				
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		本庁、各区保健センター				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		難病患者及び患者家族（堺市特定医療費（指定難病）受給者証交付件数：R4.3.31現在7,098人）				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		難病患者とその家族が生活の質を向上し地域で安心して暮らすことができるよう、療養生活における不安や悩みが軽減できるよう支援する。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)		○個別療養支援 指定難病338疾病（令和3年11月現在）のうち、重症化する神経筋難病6疾病を本庁課で集中管理し、その他の疾病については各保健センター保健師による個別療養支援等を実施する。				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など		○難病支援連絡会 市内の医療・保健・福祉等の難病関係支援者間のネットワーク構築を図り、一層の連携を推進する。				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載		○研修会等 療養支援に携わる保健師等専門職の育成を目的に開催する。				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度
	難病患者のうち神経筋難病6疾病について、療養状況を把握のうえ、関係機関と連携している患者の割合	%	目標値	100	100	100
			実績値	100	100	
			達成率	100%	100%	
	当該指標を選定した理由	指定難病の中でも最も重症化するリスクの高い神経筋難病6疾病の患者について、療養状況を把握のうえ、関係機関等と連携することで、患者とその家族の療養生活における不安等が軽減できることに繋がるため				
	目標値の設定根拠・算出方法	指定難病患者のうち神経筋難病6疾病の療養状況を把握している患者の割合				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度
	難病患者に対する個別療養支援件数	件	目標値	—	—	—
			実績値	1,200	1,200	
			達成率	—	—	
	当該指標を選定した理由	難病患者に対し、より多くの機会でもって面接・患者訪問を行うことで、療養生活における不安や悩みを解消し、生活の質の向上につながり、地域で安心して暮らすことができることに繋がるため				
	目標値の設定根拠・算出方法	罹患している疾病や状況・状態によって面接時間や必要回数が異なるため、目標値の設定になじまない				

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	難病患者支援事業	事業番号	011-218
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト						(単位：千円)							
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					
			決算		決算	決算	予算	予算要求					
		事業費 (a)		9,671	8,917	9,332	9,720	9,920					
		国支出金		2,189	1,798	1,412	1,412	1,412					
		府支出金					0						
		市債					0						
		その他 ()					0						
		受益者負担金(使用料、手数料等)					0						
一般財源		7,482	7,119	7,920	8,308	8,508							
事業費の内訳								(単位：千円)					
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源		
			報酬	R4	予算	7,101		5,689	役務費	R4	予算	0	0
			R5	予算	7,138	5,726	R5	予算		12	12		
		職員手当等	R4	予算	1,516	1,516	使用料及び賃借料	R4	予算	0	0		
			R5	予算	1,490	1,490		R5	予算	7	7		
		報償費	R4	予算	93	93	負担金、補助及び交付金	R4	予算	0	0		
			R5	予算	93	93		R5	予算	8	8		
		旅費	R4	予算	882	882		R4	予算				
			R5	予算	1,044	1,044		R5	予算				
		需用費 消耗品費	R4	予算	128	128		R4	予算				
R5	予算		128	128	R5	予算							
債務負担行為												(単位：千円)	
15	期間		R ~ R			要求額							

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	事業の継続実施
	R5	事業の継続実施
	R6以降	事業の継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	○ウイズコロナの状況となり、オンライン形式の研修会も参加形式にシフトされているため、必要な経費を要求するもの。医療の進歩は日進月歩であり、難病患者に対する支援においても常に新しい知識を吸収し、より適正な支援を実施するために最低限必要な研修会へ参加するため必要な旅費、使用料、負担金を要求する。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計		要求区分		その他	
		事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名		療養生活環境整備事業		事業番号	
担当部署名		健康福祉 局 保健所 部		011-219 保健医療 課	

I. 基本情報										
事業の位置付け										
1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—		施策	—		
			無	取組の方向性	—					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—		ターゲット	—		
			無	取組	—					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画									
3	事業開始年度			平成 8 年度		点検年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			難病の患者に対する医療等に関する法律（難病法）、療養生活環境整備事業実施要綱						
事業の概要										
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)			本庁						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)			難病患者とその家族（堺市特定医療費（指定難病）受給者証交付件数：R4.3.31現在7,098人）						
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)			難病患者支援センターにおいて、疾病別の学習会や患者交流会を行い、難病患者の療養生活の質の向上や在宅での適切な医療の確保を目指す。						
8	事業内容 (目的を達成するための手段)			○難病患者支援センターの管理運営を大阪府特定疾患研究会に委託し、患者交流会や疾病別の学習会、患者会活動の支援、ピアサポート等、難病患者支援の拠点として事業を展開する。						
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など			○在宅で人工呼吸器を使用している指定難病患者に対し、医師の指示のもと診療報酬で定められた回数を超える訪問看護を受ける場合、その回数を超えた訪問看護にかかる費用を公費負担する。						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			○難病患者等を担当するホームヘルパーの資質向上を図るため、専門の養成機関等に堺市の指定により、ホームヘルパー養成研修を実施する。介護職員初任者研修修了者などを対象に、難病基礎課程Ⅰ及び難病基礎課程Ⅱに分けて、各1日を予定（定員各50名）。						
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）			大阪府特定疾患研究会、訪問看護ステーション						
10	公民連携・協働事業									

Ⅱ. 事業の目標							
事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 点検年度 令和7年度
	難病患者支援センターにおける学習会参加者の満足度	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	97	96		
			達成率	97%	96%		
	当該指標を選定した理由		難病患者支援センターにおける学習会に参加した患者が、当該学習会の内容に満足し自らの療養生活に資することで、難病患者の療養生活及び疾病における質の向上が期待できるため				
	目標値の設定根拠・算出方法		難病患者の学習会における参加満足度アンケート				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	難病患者支援センターにおける学習会参加者数	人	目標値	700	700	700	
			実績値	227	161		
			達成率	32%	23%		
	当該指標を選定した理由		より多くの患者が学習会に参加することで、難病患者の療養生活の質の向上につながるため				
	目標値の設定根拠・算出方法		学習会参加人数				

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	療養生活環境整備事業	事業番号	011-219
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)				
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
			決算		決算		決算		予算		予算要求			
		事業費 (a)		31,445		34,343		35,457		37,436		39,594		
		国支出金		13,968		16,422		17,621		18,713		19,792		
		府支出金												
		市債												
		その他 ()												
		受益者負担金(使用料、手数料等)												
一般財源		17,477		17,921		17,836		18,723		19,802				
事業費の内訳										(単位：千円)				
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源	
		報償費		R4	予算	0	0			R4	予算			
				R5	予算	72	36			R5	予算			
		役務費		R4	予算	8	8			R4	予算			
				R5	予算	13	11			R5	予算			
		委託料		R4	予算	37,428	18,715			R4	予算			
				R5	予算	39,509	19,755			R5	予算			
				R4	予算					R4	予算			
				R5	予算					R5	予算			
				R4	予算					R4	予算			
				R5	予算					R5	予算			
				R4	予算					R4	予算			
R5	予算					R5	予算							
債務負担行為													(単位：千円)	
15	期間		R ~ R				要求額							

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	事業の継続実施
	R5	事業の継続実施
	R6以降	事業の継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	○難病患者支援センター事業は、令和4年度より普及促進事業に係る費用を削減した金額と同額の最低限必要な費用を要求。 ○ホームヘルパー養成研修事業は、令和3年度より、業務委託を廃止し市の予算を使用せずに指定による実施を行っている。 ○在宅人工呼吸器使用患者訪問看護事業は、患者にとって命に係わる必須の事業であり、患者数は毎年2名程度増加傾向にある。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計				要求区分		その他	
				事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名				事業番号		011-223	
担当部署名		健康福祉	局	保健所	部	保健医療	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
		寄与するKPI	有・無	取組の方向性	—	指標名	—
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
		寄与するKPI	有・無	取組	—	指標名	—
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画			
3	事業開始年度	昭和 49 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	公害健康被害の補償等に関する法律		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	公害認定患者 1,034人					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	ぜん息に関する予防薬、吸入薬、吸入器の使い方などについての保健師による指導や、インフルエンザ予防接種費用助成により、公害認定患者の健康を回復、保持、増進させることを目的とする。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	・家庭療養指導：公害認定患者の家庭を訪問し、日常生活の指導、保健療養指導等を行う。 ・インフルエンザ予防接種費用助成：予防接種を受けた認定患者の予防接種負担金額を助成する。					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 点検年度 令和7年度
	公害認定患者の障害等級の維持・軽快の割合	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	99	99		
			達成率	99%	99%		
	当該指標を選定した理由	公害認定患者の健康の回復、保持、増進を目的としたものであるため					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	家庭療養指導人数	%	目標値	804	772	744	
			実績値	579	564		
			達成率	72%	73%		
	当該指標を選定した理由	より多くの公害認定患者への療養上の指導を行い、その健康の回復、保持、増進を図るものであるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	家庭療養指導人数					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	公害保健福祉事業	事業番号	011-223
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)							
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度						
			決算		決算		決算		予算		予算要求						
		事業費 (a)		9,996		10,023		9,448		9,896		9,665					
		国支出金															
		府支出金															
		市債															
		その他（ 福祉事業負担金 ）		4,299		3,473		3,318		7,422		7,248					
		受益者負担金(使用料、手数料等)															
一般財源		5,697		6,550		6,130		2,474		2,417							
事業費の内訳										(単位：千円)							
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費		うち 一般財源		主な項目		年度		事業費		うち 一般財源	
		会計年度任用職員報酬		R4	予算	6,484	1,621	封筒等印刷製本費		R4	予算	21	5				
				R5	予算	6,275	1,569			R5	予算	21	5				
		期末手当（会計年度任用職員）		R4	予算	1,388	347	通信運搬費		R4	予算	137	34				
				R5	予算	1,282	321			R5	予算	137	34				
		費用弁償（訪問旅費）		R4	予算	91	23	インフルエンザ予防接種費用助成金		R4	予算	1,187	297				
				R5	予算	91	23			R5	予算	1,187	297				
		費用弁償（通勤費）		R4	予算	572	143			R4	予算						
				R5	予算	656	164			R5	予算						
		消耗品費		R4	予算	16	4			R4	予算						
R5	予算			16	4	R5	予算										
債務負担行為										(単位：千円)							
15	期間		R ～ R				要求額										

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	28年度から、市内在住者が市内医療機関でインフル予防接種を受けた場合、窓口負担無料の運用を開始。家庭療養指導については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和2年度は大幅に実施件数が減少した。
	R5	公害認定患者を対象とする家庭療養指導については、コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、適切な方法で実施する。
	R6以降	公害認定患者を対象とする家庭療養指導については、新型コロナウイルスの感染状況を注視し、アフターコロナを見据えた適切な方法で実施する。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	令和5年度は、新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、呼吸器の基礎疾患を有する公害認定患者の健康の保持・増進の目的をより効果的に実現するために必要な経費を要求する。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計				要求区分		その他
				事務事業分類		A 一般事務事業
事務事業名				事業番号		011-224
担当部署名		健康福祉	局	保健所	部	保健医療
						課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		—
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—		—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		—
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	
3	事業開始年度	昭和 49 年度
		点検年度
		令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	公害健康被害の補償等に関する法律

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	●呼吸器疾患相談：呼吸器に不安を有する15歳以上の市民 約750人（厚生労働省平成29年患者調査より推計）
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	●呼吸器疾患相談：参加者の慢性閉塞性肺疾患に関する理解を深めるとともに、療養にかかる知識を習得していただくことにより、参加者の健康の回復、増進につなげる。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	●呼吸器疾患相談 医師による呼吸器についての講義、個別相談、理学療法士によるリハビリ指導などにより、呼吸器疾患に関する理解を深めるとともに、療養にかかる知識を習得することにより、疾患の予防、健康の回復を図る。 ●ぜん息発症予防及び健康回復にかかる情報発信 「呼吸器に不安を有する方」に対し、堺市ホームページにて、ぜん息発症の予防、健康回復に対する情報を発信する。 また、（独）環境再生保全機構がHPで公開する「呼吸筋ストレッチ体操」などの動画サイトや関連資料を掲載するページへのリンクを設定し、呼吸器不安を有する市民に有益な情報を発信する。
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 令和7年度
	「呼吸器疾患相談」参加により慢性閉塞性肺疾患に関する理解が深まった方の割合	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	0	0		
			達成率	0%	0%		
	当該指標を選定した理由	事業目的である参加者の慢性閉塞性肺疾患に関する理解度を図る指標であるため					
12	目標値の設定根拠・算出方法	障害等級が維持または軽快している患者の割合					
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	「呼吸器疾患相談」の参加者数	%	目標値	40	40	40	
			実績値	0	0		
			達成率	0%	0%		
	当該指標を選定した理由	より多くの参加者にぜん息に対する正しい知識に基づく行動変容を促すものであるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	「呼吸器疾患相談」の参加者数					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	公害健康被害予防事業	事業番号	011-224
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
				決算		決算		決算		予算		予算要求			
		事業費 (a)		2,210		3		1		510		510			
		国支出金													
		府支出金													
		市債													
		その他 (負担金等)		2,210		3		1		510		510			
受益者負担金(使用料、手数料等)															
一般財源															
事業費の内訳														(単位：千円)	
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源		
		医師報酬		R4	予算	140	0	手数料		R4	予算	176	0		
				R5	予算	140	0			R5	予算	176	0		
		理学療法士出務謝礼金		R4	予算	44	0			R4	予算				
				R5	予算	44	0			R5	予算				
		会議出席等旅費		R4	予算	3	0			R4	予算				
				R5	予算	3	0			R5	予算				
		消耗品費		R4	予算	54	0			R4	予算				
				R5	予算	54	0			R5	予算				
開催案内等送付郵送費		R4	予算	93	0			R4	予算						
		R5	予算	93	0			R5	予算						
債務負担行為														(単位：千円)	
15	期間		R ~ R				要求額								

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	新型コロナウイルス感染症の拡大以降、事業開催はできていない。4年度も未だ開催実績はないが、呼吸器疾患を有する市民に対しホームページ等で有益な情報を積極的に発信した。
	R5	新型コロナウイルスの感染症の状況を注視しつつ、事業再開の機会を伺う。また、呼吸器疾患を有する市民に対しホームページ等で有益な情報を積極的に発信していく。
	R6以降	新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、事業再開の機会を伺う。また、呼吸器疾患を有する市民に対しホームページ等で有益な情報を積極的に発信していく。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	令和5年度は呼吸器の基礎疾患を有する方のコロナに対する影響や不安感に配慮しつつ、アフターコロナに向け、効果的に実施するために必要な経費を要求する。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

				要求区分	その他
一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	石綿検診事業			事業番号	011-227
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	保健医療
					課

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	—	施策	
			無	取組の方向性	—		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.8
			有	取組	検診や予防接種の受診体制の整備		
寄与 する KPI		有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画						
3	事業開始年度			平成 26 年度	点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)						
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)			本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)			市内在住の石綿ばく露の不安を有する方			
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)			石綿ばく露の可能性のある方に対し検診を実施することにより、ばく露に係る健康被害への不安を解消するとともに、自身の健康状態の把握と自主的かつ継続的な健康管理を進める。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			環境省「石綿読影の精度に関する調査」に参加する形で石綿検診を実施。 本市「肺がん・結核検診」の胸部 X 線画像を読影することにより、石綿関連所見の有無等を把握するもの。 ①市内医療機関（4機関）による一次読影 ②環境省による二次読影 ③結果通知後、上記読影の結果、対象となった方に対する精密検査（胸部CT検査）の案内 ④精密検査の結果通知			
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）			一次読影を行う市内医療機関 （近畿中央呼吸器センター、耳原総合病院、堺市立総合医療センター、ベルランド総合病院）			
10	公民連携・協働事業			患者団体との連携による検診案内の周知（チラシ配布等）			

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 点検年度 令和7年度
	石綿検診申込者数	人	目標値	-	60	65	70
			実績値	52	67		
			達成率	-	112%		
	当該指標を選定した理由		より多くの市民が検診を受診することにより、石綿ばく露に係る不安解消、自主的・継続的な健康管理につながることをため。				
目標値の設定根拠・算出方法		石綿検診申込者数					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	肺がん・結核検診会場チラシ配架枚数	%	目標値	400	800	800	
			実績値	400	800		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由		当該検診は「肺がん・結核検診」の機会を活用するものであり、受診する可能性の高い市民へ重点を置いた周知を行うもの。				
目標値の設定根拠・算出方法		各保健センター配架枚数					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	石綿検診事業	事業番号	011-227
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)							
13	財 源 内 訳	項 目		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度					
				決算		決算		決算		予算		予算要求					
		事業費 (a)		908		406		554		1,663		1,663					
		国支出金															
		府支出金															
		市債															
		その他 (石綿読影精度調査委託金)		908		406		554		1,663		1,663					
受益者負担金(使用料、手数料等)																	
一般財源																	
事業費の内訳														(単位：千円)			
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費		うち 一般財源		主な項目		年度		事業費		うち 一般財源	
		胸部X線読影及びCT検査委託料		R4	予算	1,226	0	画像提供手数料		R4	予算	100	0				
				R5	予算	1,226	0			R5	予算	100	0				
		アスベスト健康手帳等印刷製本費		R4	予算	24	0			R4	予算						
				R5	予算	24	0			R5	予算						
		医療機関宛等X線画像郵送料		R4	予算	219	0			R4	予算						
				R5	予算	219	0			R5	予算						
		環境省検討会等出席旅費		R4	予算	36	0			R4	予算						
				R5	予算	36	0			R5	予算						
消耗品費		R4	予算	58	0			R4	予算								
		R5	予算	58	0			R5	予算								
債務負担行為														(単位：千円)			
15	期間			R ~ R				要求額									

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	環境省が実施する「石綿読影の精度に係る調査」の対象地域として「石綿検診」を実施。
	R5	環境省が実施する「石綿読影の精度に係る調査」の対象地域として「石綿検診」を実施。
	R6以降	環境省が実施する「石綿読影の精度に係る調査」の対象地域として「石綿検診」を実施（当該事業は令和6年度まで）。令和7年度以降の国の動向についての報収集を行い、本市の新たな検診制度の構築を検討していく。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	本市は、令和2年度から環境省が5年間の予定で実施する「石綿読影の精度に係る調査」に参加する形で石綿検診を実施しており、当該スキームに必要な予算を要求する。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	骨髄移植普及促進事業				事業番号	011-261
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	保健医療	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		—
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—		—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		—
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画			
3	事業開始年度	平成 29 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、NPO					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市民（特に18歳以上54歳以下の骨髄ドナー登録が可能な方をはじめとする市民）					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	広く市民に対し、骨髄移植への理解を深め、ドナー登録協力への意識を醸成するとともに、ドナーが骨髄を提供しやすい環境整備を行う。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	骨髄移植は、白血病等の血液疾患に対する有効な治療法の一つであるが、骨髄移植には患者さんとドナーのHLA型（白血球の型）の適合が必要であり、適合率は、非血縁者（他人）間では数百～数万分の1の確率で、かつ、適合した場合であっても、ドナーの方々の様々な事情等により、実際に移植を受けることができる方は約6割に留まっている。 こうした状況をふまえ、協定先であるNPO法人関西骨髄バンク推進協会をはじめ、大阪府や日赤、学生等との協働・連携を強化しながら下記事業に取り組む。 ① 骨髄移植等に関する医療講演会の開催（骨髄移植の理解促進） ② 献血併行型ドナー登録会の効果的実施（ドナー登録者増加のための取組み） ③ 骨髄ドナー支援事業の実施（ドナーが骨髄等を提供しやすい環境の整備）					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	①国・府が未実施である骨髄ドナーに対する支援金事業（通院5千円／日、入院2万円／日（上限14万円））を実施 ②ドナー登録や普及啓発等を積極的に推進するため、NPO法人と協定を締結					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	骨髄ドナー					
10	公民連携・協働事業	NPO法人、大阪府、日赤、市民、学生等と協働し、普及啓発イベントやドナー登録会の実施					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標	点検年度
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
11 献血併行型ドナー登録会での新規登録者数	人	目標値	275	400	400	500	
		実績値	399	148			
		達成率	145%	37%			
	当該指標を選定した理由	ドナー登録者が増えるほど、骨髄移植を必要とする患者を多く救うことができ、また、骨髄移植に対する市民理解度を図ることができると思われるため					
目標値の設定根拠・算出方法	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、令和4年度実績と同程度の目標値を設定						
12 活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	ドナー登録会の開催回数	回	目標値	32	60		60
			実績値	60	30		
			達成率	188%	50%		
	当該指標を選定した理由	ドナー登録を効果的に増やすには、献血と併せて実施する登録会を増やすことが有効であり、また、登録会は普及啓発の場でもあるため					
目標値の設定根拠・算出方法	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、令和4年度実績と同程度の目標値を設定						

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	骨髄移植普及促進事業	事業番号	011-261
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト						(単位：千円)							
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					
			決算		決算	決算	予算	予算要求					
		事業費 (a)		635	2,272	2,760	2,017	2,799					
		国支出金											
		府支出金											
		市債											
		その他 ()			2,124	2,759	2,000	2,782					
受益者負担金(使用料、手数料等)													
一般財源		635	148	184	17	17							
事業費の内訳								(単位：千円)					
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源		
		ドナー支援金	R4	予算	1,000	0	報償費	R4	予算	0	0		
			R5	予算	1,000	0		R5	予算	92	0		
		基金積立	R4	予算	1,000	0	使用料及び賃借料	R4	予算	0	0		
			R5	予算	1,000	0		R5	予算	350	0		
		通信運搬費	R4	予算	1	1	委託料	R4	予算	0	0		
			R5	予算	11	1		R5	予算	300	0		
		旅費	R4	予算	6	6		R4	予算				
			R5	予算	6	6		R5	予算				
需用費 消耗品費	R4	予算	10	10		R4	予算						
	R5	予算	40	10		R5	予算						
債務負担行為												(単位：千円)	
15	期間		R ~ R				要求額						

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた事業実施。企業、大学との連携した啓発が中止、企業における登録会が中止 R2～ 骨髄移植普及促進クラウドファンディング開始 骨髄ドナー支援事業開始
	R5	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた事業実施。 秋ごろに医療講演会の開催
	R6以降	コロナ禍前の事業体制に向けて事業実施。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	コロナ禍の影響により、大学との連携事業を実施することができなかったが、令和5年度においては、骨髄移植普及促進事業に対するクラウドファンディングの寄附金を活用した骨髄移植等に関する医療講演会の開催を計画。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

				要求区分		その他	
一般会計				事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名				事業番号		011-228	
担当部署名		健康福祉	局	保健所	部	感染症対策	課

I. 基本情報

事業の位置付け									
1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—		
			無	取組の方向性					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
	無		現状値	—	目標値	—			
	堺市SDGs 未来都市計画		施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—	
		無		取組	—				
寄与するKPI		有・無	指標名	—					
	無	現状値	—	目標値	—				
2	関連計画								
3	事業開始年度			昭和 23 年度		点検年度		令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			予防接種法					
事業の概要									
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)			堺市					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)			予防接種法施行令に定める対象者及び市独自助成の対象者（延べ約650,000人）					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)			予防接種により、国民全体の免疫水準を維持し、伝染の恐れのある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与する。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)			○定期予防接種（予防接種法第5条） ・A類疾病にかかる予防接種…BCG、四種混合、三種混合、二種混合、ポリオ、麻しん風しん混合、麻しん、風しん、日本脳炎、ヒブ、小児の肺炎球菌、子宮頸がん予防、水痘、B型肝炎、ロタの予防接種を、それぞれの対象年齢の者に対し、無料で実施する。 ・B類疾病にかかる予防接種…インフルエンザの予防接種を65歳以上の者及び内部疾患の60～64歳の者に対し、一部自己負担（低所得者は無料）で実施する。また、肺炎球菌の予防接種を、年度内に65,70,75,80,85,90,95,100歳となる過去に接種歴の無い者に対し、接種費用の一部自己負担（低所得者は無料）により実施する。 ・新型コロナウイルス感染症にかかる予防接種…国の指示に基づき、新型コロナウイルスワクチン接種に必要な体制を整備し、対象年齢の者に対して無料で接種を実施する。					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など								
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			○任意予防接種の助成 肺炎球菌の予防接種を、65歳以上となる者（上記定期接種対象者は除く）に対し、接種費用の一部自己負担（低所得者は無料）により実施する。					
	9 主な支出先（委託・補助金・負担金等）			一般社団法人 堺市医師会ほか					
10	公民連携・協働事業								

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 点検年度 令和7年度
	麻しん集団発生件数	件	目標値	0	0	0	0
			実績値	0	0		
			達成率	—	—		
	当該指標を選定した理由		国において、麻しんの感染力及び重篤性並びに流行した場合に社会に与える影響等を踏まえて、「麻しんに関する特定感染症予防指針」を定め、排除状態の維持を目標としているため。				
目標値の設定根拠・算出方法		国の「麻しんに関する特定感染症予防指針」で、排除状態の維持を定めているため。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	麻しん（麻しん風しん混合）予防接種の接種率	%	目標値	95	95	95	
			実績値	95	95		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由		国の「麻しんに関する特定感染症予防指針」で、感染力が非常に強い麻しんの発生予防の最も有効な対策を予防接種による免疫獲得と定めているため。				
目標値の設定根拠・算出方法		国の「麻しんに関する特定感染症予防指針」で、接種率目標（95%以上）が明確化されているため。					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	予防接種事業	事業番号	011-228
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト						(単位：千円)							
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					
			決算		決算	決算	予算	予算要求					
		事業費（a）		1,894,419	2,456,728	6,788,879	5,065,373	5,201,565					
		国支出金		420	132,903	4,808,112	3,106,535	3,026,426					
		府支出金		530	173,308	834	834	2,397					
		市債											
		その他（ ワクチン接種手数料ほか ）					8,200	5,001					
		受益者負担金(使用料、手数料等)											
一般財源		1,893,469	2,150,517	1,979,933	1,949,804	2,167,741							
事業費の内訳								(単位：千円)					
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源		
		予防接種委託料	R4	予算	1,092,762	1,092,762	予防接種健康被害救済経費	R4	予算	810	210		
			R5	予算	1,181,724	1,181,724		R5	予算	810	504		
		ワクチン購入等消耗品費	R4	予算	823,558	823,358	予防接種手帳等印刷製本費	R4	予算	4,221	4,221		
			R5	予算	949,128	946,682		R5	予算	4,221	4,221		
		事務費等委託料	R4	予算	11,638	11,638	個別通知等郵送料	R4	予算	6,309	6,309		
			R5	予算	13,249	13,249		R5	予算	8,318	8,318		
		会計年度任用職員雇用経費	R4	予算	2,134	2,134	新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費	R4	予算	3,608,683	0		
			R5	予算	2,157	2,157		R5	予算	3,030,920	0		
		予防接種費用助成金	R4	予算	7,643	7,492	その他（保険料、委員報酬等）	R4	予算	2,534	2,534		
			R5	予算	8,560	8,409		R5	予算	2,478	2,477		
債務負担行為												(単位：千円)	
15	期間		R ～ R				要求額						

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	○R2.10月より新たにロタウイルスワクチンの予防接種がA類疾病に追加。
	R5	○既存事業の継続実施。
	R6以降	○既存事業の継続実施。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	令和5年度においても引き続き、乳幼児向けの予防接種全般について、できるだけ早い時期に確実に免疫をつけ、また、接種に係る保護者の負担を軽減するため、複数のワクチンを同時に接種する「同時接種」を更に推進する。
----	---------	--

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	感染症予防対策				事業番号	011-229
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	感染症対策	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
2	関連計画						
3	事業開始年度			平成 11 年度	点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	堺市
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	全堺市民 826,161人 (R2年10月1日国勢調査結果より)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	様々な感染症に対し、その感染力や健康被害への影響を勘案し、疫学調査、入院措置及び就業制限等を行うことで市民の健康を守るとともに、感染の拡大を防止する。また、保育所、学校及び老人福祉施設等に対して、感染症予防の指導啓発等を行うことにより、施設内の集団感染を防止し、子どもや高齢者の健康維持を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	・1～5類等の感染症が発生した場合、必要に応じ患者への疫学調査、入院措置、就業制限、接触者の健康観察等を行うことで感染拡大を防止する。 ・ウイルス性肝炎の早期発見のため、各保健センター及び協力医療機関において肝炎ウイルス検査を実施するとともに、陽性者を早期治療につなげるためのフォローアップ事業を実施する。 ・市民および市内集団施設に対し、感染症予防のための知識の普及及び指導を行う。 ・性感染症について、各保健センターや保健所(サンスクエア堺)での検査及び啓発事業を実施する。 ・新型インフルエンザ等の新たな感染症の発生時に備え、医療物資の備蓄を行う。
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先(委託・補助金・負担金等)	一般社団法人 堺市医師会ほか
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標	点検年度
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
11 1、2、3類感染症、麻しん及び風しんの集団発生件数	件	目標値	0	0	0		0
		実績値	1	0			
		達成率	100%	-			
当該指標を選定した理由		疫学調査で感染拡大を防止することのできる感染症の集団発生件数を指標とすることにより、事業目的の達成状況を把握するため					
目標値の設定根拠・算出方法		疫学調査により感染拡大を防止することが事業目的であるため。					

活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	
12 疫学調査実施率	%	目標値	100	100	100	
		実績値	100	100		
		達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由		疫学調査を実施することで感染症の感染拡大を防止することができるため。 ※令和3年度疫学調査実施件数：49件				
目標値の設定根拠・算出方法		感染拡大を防止するためには、対象となる感染症の全ての症例について疫学調査を実施することが必要であるため。				

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	感染症予防対策	事業番号	011-229
-------	---------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)							
13	財 源 内 訳	項 目		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度					
				決算		決算		決算		予算		予算要求					
		事業費 (a)		56,071		1,382,357		2,632,817		2,100,677		13,020,997					
		国支出金		31,816		1,072,425		1,870,915		973,221		3,530,497					
		府支出金				69,948		286,376		176,120		7,132,989					
		市債															
		その他（ 医療物資寄付金 ）				31,709											
		受益者負担金(使用料、手数料等)															
一般財源		24,255		208,275		475,526		951,336		2,357,511							
事業費の内訳														(単位：千円)			
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費		うち 一般財源		主な項目		年度		事業費		うち 一般財源	
		肝炎ウイルス検査委託料		R4	予算	34,634	12,035	感染症対策消耗品費		R4	予算	1,891	1,876				
				R5	予算	34,627	12,193			R5	予算	1,891	1,706				
		検査手数料		R4	予算	1,826	834	感染症審査協議会委員報酬		R4	予算	23	23				
				R5	予算	1,751	1,046			R5	予算	41	41				
		医療機関等資料郵送料		R4	予算	163	163	ハンセン病講演会実行委員負担金		R4	予算	50	50				
				R5	予算	169	164			R5	予算	50	50				
		会計年度任用職員雇用経費		R4	予算	0	0	コロナ対策経費		R4	予算	2,061,481	935,803				
				R5	予算	0	0			R5	予算	12,981,781	2,341,931				
研修会・会議等参加旅費		R4	予算	44	44	その他（使用料及び賃借料、負担金等）		R4	予算	565	508						
		R5	予算	44	44			R5	予算	643	336						
債務負担行為																(単位：千円)	
15	期間		R ～ R				要求額										

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	・新たな感染症対策の充実 ・性感染症検査の無料化の継続 ・新型コロナウイルスへの対応
	R5	・新たな感染症対策の充実 ・性感染症検査の無料化の継続 ・新型コロナウイルス感染症への対応の継続
	R6以降	・新たな感染症対策の充実 ・性感染症検査の無料化の継続

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	・感染症発生時検査、肝炎ウイルス検査、性感染症検査を実施するための経費を計上している。 ・蚊媒介感染症対策、さらに新たな感染症発生時の早急な対応が求められており、所要の経費を計上している。 ・新型コロナウイルス感染症への対応に必要な行政検査等にかかる経費を計上している。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

				要求区分	その他
一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	エイズ予防対策			事業番号	011-230
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	感染症対策
					課

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—		
寄与 する KPI		有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画						
3	事業開始年度		昭和 61 年度		点検年度		令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律				
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		堺市				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		全堺市民 826,161人 (R2年10月1日国勢調査結果より)				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		市民に対してHIV／エイズの正しい知識を普及啓発することで、H I V感染のまん延を防止し、患者に対する差別や偏見をなくす。また、H I V検査・相談の機会を提供することにより、陽性者の早期発見、早期治療につなげるとともに、更なる感染の拡大を防止することを目的とする。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)		○検査・相談体制 ・通常検査 各保健センターにて月 1 回実施 ・夜間検査 サンスクエア堺にて奇数月1回、6月の性感染症予防月間及び12月の世界エイズデーに合わせて各1回 実施 (保健センター輪番制) ・平日即日検査 堺市保健医療センターにて偶数月1回実施				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など		○知識の普及啓発 ・性感染症予防月間および世界エイズデーに関するパネル展示等による予防啓発を実施 ・啓発の一部は、大阪府及び保健所設置8市 (大阪市・高槻市・東大阪市・豊中市・枚方市・八尾市・寝屋川市・吹田市・堺市) で組織されるエイズ予防週間実行委員会にて共同実施				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)		エイズ予防週間実行委員会				
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度
	「いきなりエイズ」の報告件数	人	目標値	0	0	0
			実績値	1	2	
			達成率	-	-	
	当該指標を選定した理由	HIV感染が判明した時点でエイズを発症している状態 (いわゆる「いきなりエイズ」) は、感染機会があつてから長く検査を受ける機会がなかったことを指すため、当該件数の減少が早期発見・早期治療できているかの指標として設定。				
12	目標値の設定根拠・算出方法	全ての症例について早期発見・早期治療を目指すため、「いきなりエイズ」ゼロを目標とした。				
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度
	HIV抗体検査受検者数	人	目標値	800	700	800
			実績値	695	800	
			達成率	87%	114%	
	当該指標を選定した理由	陽性者の早期発見・早期治療のためには、検査・相談の機会確保が重要であるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	実績及び実績見込みを参考に目標値を設定。				

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	エイズ予防対策	事業番号	011-230
-------	---------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト							(単位：千円)							
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度						
			決算		決算	決算	予算	予算要求						
		事業費 (a)		3,423	1,806	3,234	2,811	2,844						
		国支出金		1,320	723	1,414	1,203	1,222						
		府支出金												
		市債												
		その他 ()												
		受益者負担金(使用料、手数料等)												
一般財源		2,103	1,083	1,820	1,608	1,622								
事業費の内訳											(単位：千円)			
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源			
			検査用試薬・医療材料等消耗品費	R4	予算	1,350		675	検査手数料	R4	予算	90	86	
			R5	予算	1,350	675	R5	予算		90	83			
		大阪府エイズ予防週間実施負担金	R4	予算	112	56	研修会等参加負担金	R4	予算	50	25			
			R5	予算	110	55		R5	予算	50	25			
		医師報酬	R4	予算	415	207	研修会等参加旅費	R4	予算	15	8			
			R5	予算	415	207		R5	予算	19	18			
		HIV検査会場借り上げ料	R4	予算	74	37	即日HIV抗体検査及び相談業務	R4	予算	428	375			
			R5	予算	74	37		R5	予算	428	374			
		HIV/エイズポスター等郵送料	R4	予算	41	21	その他（使用料及び賃借料、謝礼金、負担金等）	R4	予算	236	118			
R5	予算		41	21	R5	予算		267	127					
債務負担行為											(単位：千円)			
15	期間		R ~ R				要求額							

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	検査体制の充実 ・安定的な検査拠点の確保 ・検査体制の再構築等の検討
	R5	検査体制の充実 ・安定的な検査拠点の確保 ・検査体制の再構築等の検討
	R6以降	検査体制の充実 ・検査体制の維持及び継続

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	・HIV検査の実施により、HIV/エイズの早期発見・早期治療を図る。 ・予防啓発の実施により、感染予防及び感染拡大を防止する。 ・利便性の高い会場の選定等により受検者が増加したことをふまえ、検査相談体制を充実させる。
----	---------	--

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	結核定期健康診断・予防啓発事業				事業番号	011-233
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	感染症対策	

I. 基本情報

事業の位置付け									
1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	—	施策	—		
			無	取組の方向性	—				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—	目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—		
			無	取組	—				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画								
3	事業開始年度			昭和 26 年度		点検年度		令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律					
事業の概要									
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)			堺市					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)			結核の罹患率が高い65歳以上の市民 約235,000人					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)			主に結核の罹患率が高い65歳以上の市民を対象に、レントゲン検査を実施することにより、結核の早期発見、早期治療につなげ、結核のまん延を予防する。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)			【結核予防週間等における予防啓発事業】 ①街頭啓発キャンペーンの実施（令和3年度：9月24日～9月30日） ②啓発リーフレットの作成及び配布 ③市役所・保健センターで結核についての展示 【肺がん・結核検診】 全校区において、胸部エックス線検診車の巡回検診を実施（令和3年度：100回） 【定期健康診断実施報告書の提出勧奨】 市内医療機関・福祉施設・学校等は年1回定期的健康診断を実施する必要があり、勧奨によって報告率の向上を目指す。 【結核対策費補助金の交付】 学校や老人ホーム等の集団で生活する施設に対する結核対策費補助金の交付を行い、患者を早期発見する。					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など								
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載								
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）			委託：一般財団法人 大阪府結核予防会ほか 補助金：羽衣国際大学ほか					
10	公民連携・協働事業								

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 点検年度 令和7年度
	結核罹患率	%	目標値	15.6	15.0	14.0	13.0
			実績値	14.5	15.8		
			達成率	93%	105%		
	当該指標を選定した理由	本事業は、結核患者の早期発見、まん延の防止を目的としているため。 ※罹患率…一年間に発病した患者数を人口10万人対率で表したもの。					
12	目標値の設定根拠・算出方法	堺市結核対策評価会議を実施し、国の指針に基づき算定していたが、現時点で指針が示されていないため、実績より算					
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	肺がん・結核検診受診者数	件	目標値	2,200	3,500	4,000	
			実績値	3,588	3,100		
			達成率	163%	89%		
	当該指標を選定した理由	健康診断実施者は、感染症法第53条の7に基づき、報告しなければならないため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	前年実績を参考に設定。					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	結核定期健康診断・予防啓発事業	事業番号	011-233
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト											(単位：千円)							
13	財 源 内 訳	項 目		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度						
				決算		決算		決算		予算		予算要求						
		事業費 (a)			19,021		13,582		17,828		20,654		20,502					
		国支出金																
		府支出金																
		市債																
		その他 ()																
		受益者負担金(使用料、手数料等)																
一般財源			19,021		13,582		17,828		20,654		20,502							
事業費の内訳															(単位：千円)			
14	事 業 費 内 訳	主な項目			年度		事業費		うち 一般財源	主な項目			年度		事業費		うち 一般財源	
		結核定期健康診断補助金			R4	予算	2,816	2,816	事務費等消耗品費	R4	予算	338	338					
					R5	予算	2,797	2,797		R5	予算	342	342					
		肺がん・結核健診委託料			R4	予算	13,992	13,992	医学文献情報データベース利用料	R4	予算	276	276					
					R5	予算	13,876	13,876		R5	予算	276	276					
		会計年度任用職員雇用経費			R4	予算	2,161	2,161	有料道路通行料	R4	予算	18	18					
					R5	予算	2,146	2,146		R5	予算	18	18					
		肺がん・結核健診案内誘導業務委託料			R4	予算	523	523	会議等参加旅費	R4	予算	9	9					
					R5	予算	525	525		R5	予算	9	9					
		定期健診報告勧奨等郵送料			R4	予算	453	453	その他（手数料、修繕料等）	R4	予算	68	68					
R5	予算				453	453	R5	予算		60	60							
債務負担行為															(単位：千円)			
15	期間			R ~ R					要求額									

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	- 結核患者の早期発見を目的とした市民検診の実施。また、事業所の検診実施状況の把握及び勧奨 - 結核における知識の啓発
	R5	- 結核患者の早期発見を目的とした市民検診の実施。また、事業所の検診実施状況の把握及び勧奨 - 結核における知識の啓発
	R6以降	- 結核患者の早期発見を目的とした市民検診の実施。また、事業所の検診実施状況の把握及び勧奨 - 結核における知識の啓発

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	- 結核患者の早期発見を目的とし実施している市民検診にかかる所要の経費を計上している。 - 大阪府内の他保健所との連携を目的とした会議及び市内医療機関との調整にかかる所要の経費を計上している。 - 事業所に対して、胸部X線検査の積極的な推奨を行うための補助金として計上している。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	結核接触者健診・患者管理				事業番号	011-234
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	感染症対策	

I. 基本情報

事業の位置付け									
1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	—	施策	—		
			無	取組の方向性	—				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—	目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—		
			無	取組	—				
寄与 する KPI		有・無	指標名	—					
		無	現状値	—	目標値	—			
2	関連計画								
3	事業開始年度			昭和 26 年度		点検年度		令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律					
事業の概要									
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)			堺市					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)			全堺市民のうち結核に罹患した人及びその接触者 約1,000人					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)			①治療終了後の患者が適切な時期に健診を受け、再発の早期発見を支援する。 ②接触者に対し、健診を実施し、発病前の潜在性結核感染症（LTBI）及び発病を早期に発見する。 ③患者の発生状況を国に報告することにより、全国的な結核対策に役立てる。 上記①②③により地域での結核のまん延を防止する。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)			・患者家族及び接触者健診の実施 ① I G R A 検査（結核菌の感染の有無についての血液検査） ②胸部エックス線検査等（結核発病の有無についての検査） ・管理検診の実施（治療終了後の患者に対する精密検査） ①胸部エックス線検査					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など			・患者管理の実施 ①喀痰塗抹陽性患者への面接 ②登録者情報システム等による患者管理					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載								
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）			一般社団法人 堺市医師会 ほか					
10	公民連携・協働事業								

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 点検年度 令和7年度
	結核罹患率	%	目標値	15.6	15.0	14.0	13.0
			実績値	14.5	15.8		
			達成率	93%	105%		
	当該指標を選定した理由	本事業は、結核患者の早期発見、まん延の防止を目的としているため。 ※罹患率…一年間に発病した患者数を人口10万人対率で表したもの。					
目標値の設定根拠・算出方法		堺市結核対策評価会議を実施し、国の指針に基づき算定していたが、現時点で指針が示されていないため、実績より算定。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	接触者健診受診率	%	目標値	98.0	98.0	98.0	
			実績値	97.8	97.4		
			達成率	100%	99%		
	当該指標を選定した理由	接触者に対し、早期に健診を行うことで結核患者の早期発見・まん延の防止を実現することができる。					
目標値の設定根拠・算出方法		H28結核対策評価会議にて長期目標を見直し、設定。前年の新規登録患者の接触者のうち2か月以内に実施した健診者数の割合。令和3年度に結核対策評価会議を実施し、目標を検討。現時点では未定。					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	結核接触者健診・患者管理	事業番号	011-234
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
			決算		決算		決算		予算		予算要求				
		事業費 (a)		15,765		6,451		7,204		8,351		8,205			
		国支出金		2,983		2,062		2,053		2,599		2,531			
		府支出金													
		市債													
		その他 ()													
		受益者負担金(使用料、手数料等)													
一般財源		12,782		4,389		5,151		5,752		5,674					
事業費の内訳										(単位：千円)					
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費		うち 一般財源	主な項目		年度		事業費		うち 一般財源
		患者家族及び接触者検診料		R4	予算	1,949	1,113	消耗品費	R4	予算	324	320			
				R5	予算	1,891	1,080		R5	予算	324	320			
		結核登録者情報システム保守委託料		R4	予算	1,499	1,499	エックス線画像診断システム保守委託料	R4	予算	132	132			
				R5	予算	1,499	1,499		R5	予算	132	132			
		管理検診委託料		R4	予算	1,325	751	検診通知郵送料	R4	予算	151	137			
				R5	予算	1,325	751		R5	予算	151	137			
		I G R A s 検査委託料		R4	予算	969	506	モバイル端末機器使用料	R4	予算	148	148			
				R5	予算	969	506		R5	予算	148	148			
		検査等手数料		R4	予算	1,854	1,146		R4	予算					
R5	予算			1,766	1,101	R5	予算								
債務負担行為										(単位：千円)					
15	期間		R ~ R				要求額								

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	- 結核患者に対し、治療終了後の再発早期発見を支援するための健診を実施。 - 患者家族及び接触者に対し、健診を実施し、感染のまん延を防止する。
	R5	- 結核患者に対し、治療終了後の再発早期発見を支援するための健診を実施。 - 患者家族及び接触者に対し、健診を実施し、感染のまん延を防止する。
	R6以降	- 結核患者に対し、治療終了後の再発早期発見を支援するための健診を実施。 - 患者家族及び接触者に対し、健診を実施し、感染のまん延を防止する。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	- 複数の患者及び接触者の管理を行うために導入しているシステムの保守・運用にかかる経費を計上している。 - 治療終了後の患者に対する健診にかかる経費を計上している。 - 患者の同居家族及び接触者に対する健診にかかる経費を計上している。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	結核対策特別促進事業				事業番号	011-236
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	感染症対策	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		—
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—		—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		—
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画			
3	事業開始年度	昭和 26 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	堺市					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	全堺市民のうち結核に罹患した人 約200名					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	・結核の再発・多剤耐性結核を予防するためDOTS事業による確実な治療の推進を図る。 ・結核り患の多い高齢者等に対する結核予防事業を実施し、あわせて啓発を行うことで高齢者の結核り患率を低下させる。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	・DOTS支援員（訪問看護師、協力薬局など）による服薬支援（DOTS）の実施。 ・ハイリスク者（高齢者など）に対する結核検診や啓発の実施。 ※DOTS…（Directly Observed Treatment Short Course）直接監視下服薬短期療法。 患者の服薬を医療従事者が直接確認し、服薬を支援する治療方法。					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	一般社団法人 堺市薬剤師会					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標	点検年度
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
11 結核罹患率	%	目標値	15.6	15.0	14.0	13.0	
		実績値	14.5	15.8			
		達成率	93%	105%			
	当該指標を選定した理由		本事業は、結核患者の早期発見、まん延の防止を目的としているため。 ※罹患率…一年間に発病した患者数を人口10万人対率で表したもの。				
目標値の設定根拠・算出方法		堺市結核対策評価会議を実施し、国の指針に基づき算定していたが、現時点で指針が示されていないため、実績より算					
12 活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	全患者に対するDOTS実施率	%	目標値	95.0	95.0		95.0
			実績値	100.0	99.4		
			達成率	105%	105%		
当該指標を選定した理由		全患者にDOTSを実施することで、確実な治療促進を図っているため。					
目標値の設定根拠・算出方法		2年前の新登録患者に対するDOTS実施率。国の定める「結核に関する特定感染症予防指針」参照。					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	結核対策特別促進事業	事業番号	011-236
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
			決算		決算		決算		予算		予算要求				
		事業費 (a)		5,445		4,661		4,672		6,187		6,104			
		国支出金		3,710		3,115		3,966		5,305		5,267			
		府支出金													
		市債													
		その他 ()													
		受益者負担金(使用料、手数料等)													
一般財源		1,735		1,546		706		882		837					
事業費の内訳										(単位：千円)					
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費		うち 一般財源	主な項目		年度		事業費		うち 一般財源
		結核定期病状調査等謝礼金		R4	予算	811	795	服薬手帳印刷製本費	R4	予算	28	0			
				R5	予算	750	750		R5	予算	28	0			
		会計年度任用職員雇用経費		R4	予算	3,426	0	服薬支援（DOTS）業務委託料	R4	予算	385	0			
				R5	予算	3,426	0		R5	予算	385	0			
		事務連絡等通信運搬費		R4	予算	260	0	結核ハイリスク者検診	R4	予算	440	0			
				R5	予算	250	0		R5	予算	440	0			
		研修会等参加旅費		R4	予算	77	0	外国人に対する治療・服薬支援員委託料	R4	予算	300	0			
				R5	予算	193	0		R5	予算	250	0			
		研修会参加負担金		R4	予算	45	0	その他（報酬、消耗品費、備品購入費等）	R4	予算	415	87			
				R5	予算	67	0		R5	予算	315	87			
債務負担行為										(単位：千円)					
15	期間		R ~ R				要求額								

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	- 結核患者に対する確実な服薬支援 - 医療従事者等に対する結核知識の普及啓発
	R5	- 結核患者に対する確実な服薬支援 - 医療従事者等に対する結核知識の普及啓発
	R6以降	- 結核患者に対する確実な服薬支援 - 医療従事者等に対する結核知識の普及啓発

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	- 結核患者に対する確実な服薬支援を実施するため、所要の経費を計上している。 - 結核患者の早期発見のため、ハイリスク者に対する胸部X線検査を実施する経費を計上している。 - 医療従事者及び保健所職員に対し、結核における知識の習熟を目的とした講演会実施及び研修参加のための費用を計上している。
----	---------	--

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計				要求区分		その他	
				事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名				事業番号		011-237	
担当部署名				健康福祉	局	保健所	部
				食品衛生			
				課			

Ⅰ. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
		寄与するKPI	有・無	取組の方向性	—	指標名	—
			無	現状値	—	目標値	—
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
		寄与するKPI	有・無	取組	—	指標名	—
			無	現状値	—	目標値	—
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	堺市食品衛生監視指導計画		
3	事業開始年度	昭和 23 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	食品衛生法、食品表示法		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民823,731人及び食品関係営業施設13,777施設等					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市民及び食品等事業者の衛生知識の向上を図り、飲食に起因する健康被害の発生を未然に防ぐ。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	国が定めた食品衛生月間（8月）の実施要領に基づいて、本市では7～8月にかけて食中毒予防啓発活動（うちわ配布等）、パネル展示等を行っている。また、年間を通じて次の事業等を行うことで食品衛生知識の普及を図っている。 ①講習会の実施（令和3年度よりYouTubeでの動画配信を開始） ②優秀施設に対する標識交付 ③啓発ポスターの作成・配布 ④通知、広報さかい、ホームページ等による情報提供 ⑤パネル展示の実施					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）						
10	公民連携・協働事業	食中毒予防啓発うちわの作成・配布（堺市食品衛生協会と共催）					

Ⅱ. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標	点検年度
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
11 食品衛生講習会参加者の理解度	%	目標値	100	100	100		100
		実績値	—	97			
		達成率	—	97%			
	当該指標を選定した理由		講習会参加者の理解度が高いほど、衛生知識が向上したものと判断できるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		講習会実施後にアンケートを実施し、「理解できた」の回答者数/全回答者数×100で算出。100%を目標とする。					
12 活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	人	目標値	1,452	3,381	2,669		
		実績値	3,314	2,616			
		達成率	228%	77%			
当該指標を選定した理由		市民や事業者に対する食品衛生知識の普及は自治体の責務であり、より多くの市民に対し普及啓発を行うため。					
目標値の設定根拠・算出方法		前年度実績値の２％増を目標とする。					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	食品衛生知識の普及	事業番号	011-237
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)						
13	財 源 内 訳	項 目		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
				決算		決算		決算		予算		予算要求				
		事業費（a）			910		1,330		801		787		586			
		国支出金			470		326									
		府支出金														
		市債														
		その他（ ）														
		受益者負担金(使用料、手数料等)														
		一般財源			440		1,004		801		787		586			
事業費の内訳												(単位：千円)				
14	事 業 費 内 訳	主な項目			年度		事業費	うち 一般財源	主な項目			年度		事業費	うち 一般財源	
		役務費 （通信運搬費）			R4	予算	345	345				R4	予算			
					R5	予算	168	168				R5	予算			
		需用費 （消耗品費、印刷製本費）			R4	予算	227	227				R4	予算			
					R5	予算	218	218				R5	予算			
		報償費			R4	予算	150	150				R4	予算			
					R5	予算	150	150				R5	予算			
		使用料及び賃借費 （会場借上費）			R4	予算	65	65				R4	予算			
					R5	予算	50	50				R5	予算			
					R4	予算						R4	予算			
R5	予算						R5	予算								
債務負担行為															(単位：千円)	
15	期間			R ~ R				要求額								

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	令和3年6月に改正食品衛生法が全面施行。HACCP制度化や許可業種の見直し等、改正内容について事業者向け周知を実施するとともに、食品衛生知識の普及を通じ衛生水準の向上を図る。
	R5	飲食に起因する健康被害の発生を未然に防ぐため、事業者のみならず市民への、より一層の食品衛生知識の普及を図る。
	R6以降	事業の継続実施。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	前年に引き続き、食品衛生知識の普及を通じて、飲食に起因する健康被害の発生を未然に防止する。市民や事業者に対する情報発信については新型コロナウイルス感染症の影響により対面から非対面へ、文書から電子へとシフトしているところではあるが、集合型の講習を希望する事業者等も一定数いることから、広く情報発信できる方法を引き続き模索していく必要がある。
----	---------	---

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	狂犬病予防対策				事業番号	011-239
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	動物指導センター	
					課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(2) かかりつけ医から高度医療までつながる地域医療体制の充実
			有	取組の方向性	②感染症対策の充実		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画		無	現状値	—	目標値	—
		施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.3
		寄与するKPI	有・無	取組	新型コロナウイルス感染症などの感染症対策の推進		
			有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画			
3	事業開始年度	昭和 26 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	狂犬病予防法		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	動物指導センター					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市内で飼育されている全ての飼い犬及びその所有者（飼い犬登録数40,496頭（令和4年3月末現在））					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	狂犬病の発生を予防し、そのまん延を防止し、公衆衛生の向上及び市民生活の安全に資する。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	○狂犬病予防法に基づく飼い犬の登録、毎年の予防接種実施と済票の交付及びその管理にかかる一連の業務 ・登録（鑑札交付）と予防注射済票交付事務 ・飼い犬台帳（登録と狂犬病予防注射実施記録）管理 ・集合注射の計画・実施、飼い主への通知 ・登録と予防注射実施率向上のための啓発 ・飼い主に対する登録・予防注射指導 ○放浪犬の保護収容等業務 ・捕獲（保護）、抑留 ・返還時の狂犬病予防注射実施 ・咬傷犬の鑑定					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 令和7年度
	狂犬病予防注射実施率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	60	60		
			達成率	60%	60%		
	当該指標を選定した理由	狂犬病予防注射実施率向上を目的とした事業であるため。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	狂犬病予防注射済票交付数	枚	目標値	30,000	30,000	30,000	
			実績値	27,095	28,500		
			達成率	90%	95%		
	当該指標を選定した理由	狂犬病予防注射実施の実数のため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	過去の実績及び接種率を勘案（集合注射及び動物病院実施件数を含む）					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	狂犬病予防対策	事業番号	011-239
-------	---------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
			決算		決算		決算		予算		予算要求				
		事業費 (a)		26,821		18,963		19,698		21,558		21,093			
		国支出金													
		府支出金													
		市債													
		その他 ()													
		受益者負担金(使用料、手数料等)		3,412		3,656		3,485		3,315		7,401			
一般財源		23,409		15,307		16,213		18,243		13,692					
事業費の内訳												(単位：千円)			
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費		うち 一般財源	主な項目		年度		事業費		うち 一般財源
		狂犬病予防注射済票及び犬鑑札 交付業務		R4	予算	6,050	2,802	消耗品費	R4	予算	966	966			
				R5	予算	6,380	677		R5	予算	1,813	1,813			
		犬舎清掃業務		R4	予算	802	802	印刷製本費	R4	予算	302	302			
				R5	予算	806	806		R5	予算	292	292			
		通知関係等封入等業務		R4	予算	1,700	1,700	通信運搬費	R4	予算	3,297	3,297			
				R5	予算	1,900	202		R5	予算	3,524	3,524			
		飼い犬登録システム保守委託料		R4	予算	238	238	会計年度任用職員報酬、期末手 当、通勤費	R4	予算	2,359	2,359			
				R5	予算	238	238		R5	予算	2,162	2,162			
		引取犬搬送及び負傷犬猫・放浪 犬収容業務		R4	予算	3,960	3,960	その他（旅費、手数料、備品購入費 等）	R4	予算	1,884	1,884			
R5	予算			3,960	3,960	R5	予算		18	18					
債務負担行為														(単位：千円)	
15	期間		R ～ R				要求額								

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	登録頭数 40,496頭（令和4年3月末日現在） 新規登録 3,317頭 済票交付 27,095件
	R5	登録頭数 44,000頭（令和5年3月末日予想） 新規登録 5,000頭 済票交付 29,000件
	R6以降	登録頭数 48,000頭（令和6年3月末日予想） 新規登録 6,000頭 済票交付 32,000件

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	●引取犬搬送及び負傷犬猫・放浪犬収容業務（複数年契約）
----	---------	-----------------------------

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	薬事・毒物劇物関係係認可及び監視指導事業			事業番号	011-244
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	環境薬務課

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—		
寄与 する KPI		有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画						
3	事業開始年度			平成 9 年度	点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律、毒物及び劇物取締法、大阪府麻薬覚醒剤等対策本部要綱			
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)			本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)			事業者及び市民			
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)			医薬品等の品質、有効性、安全性を確保し、保健衛生上の危害を防止する。(法定義務等事業) 毒物や劇物の流出・漏洩事故の発生による重大な健康被害や保管管理不備による盗難・紛失等を未然に防止する。(法定義務等事業) ・市民が危険ドラッグを含む乱用薬物に対する正しい知識を身につける。特に小学生から大学生までの若い世代に対し学校等での薬物乱用防止教室の後方支援を行い、薬物乱用防止に係る意識の醸成を図る。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段)			・薬局、市長権限の医薬品販売業、医療機器販売・貸与業に対する許可事務と監視指導及び医薬品等の行政検査を実施。(法定義務等事業) ・毒物劇物販売業者、特定毒物研究者、毒物劇物業務上取扱者に対する登録・許可(届出)事務及び保管管理や危害防止対策の実施状況等の監視指導を実施。(法定義務等事業) ・医薬品等の適正使用の啓発業務を実施。(法定義務等事業) ・令和4年度より「シンナー・覚醒剤等乱用防止啓発事業」を「薬事・毒物劇物関係係認可及び監視指導事業」に統合する。 ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動期間(6月20日から7月19日)中に、大阪府とともに、街頭キャンペーンによる啓発 ・各区域で行われる「区民まつり」等で、パネル・映像等を使用したクイズによる啓発 ・市内学校で薬物乱用防止教室を開催するにあたって、要望に応じて啓発DVD(ビデオ)やパネルの貸し出し・啓発冊子の提供(在庫がなくなるまで) ・広報紙・ホームページ・SNS等で積極的に情報発信			
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載							
9	主な支出先(委託・補助金・負担金等)						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度
	啓発対象者の理解度	%	目標値	100	100	100
			実績値	-	97	
			達成率	-	97%	
	当該指標を選定した理由	啓発対象者の理解度が高いほど、薬物乱用に対する知識が向上したものと判断できるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		区民まつり等で啓発を行った後にアンケートを実施し、「理解できた」の回答者数/全回答者数×100で算出。100%を目標とする。 R3年度はアンケートを実施予定であったが、区民まつりが全て中止のため、実績値の入力はない。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度
	啓発人数	人	目標値	4,600	4,600	4,600
			実績値	-	2,000	
			達成率	-	43%	
	当該指標を選定した理由	区民まつり等で啓発を行った人数を指標とする。				
目標値の設定根拠・算出方法		R4年度は区民まつりの中止・規模縮小があり、3区のみ参加となった。R5年度は全区で参加するものとして目標値を設定する。				

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	薬事・毒物劇物関係許認可及び監視指導事業	事業番号	011-244
-------	----------------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)			
13	財 源 内 訳	項 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
			決算		決算		決算		予算		予算要求		
		事業費 (a)		2,333		2,634		1,431		2,397		2,696	
		国支出金		21		26		26		25		25	
		府支出金											
		市債											
		その他 (シンナー・覚醒剤等乱用防止啓発事業指定寄附金)				300							
		受益者負担金(使用料、手数料等)		1,748		1,629		1,375		2,372		2,671	
一般財源		564		679		30		0		0			
事業費の内訳												(単位：千円)	
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源		
			普通旅費	R4				予算	62			0	手数料
			R5	予算	187	0		R5	予算	1,305	0		
		消耗品費	R4	予算	735	0	機密文書リサイクル委託料	R4	予算	14	0		
			R5	予算	775	0			R5	予算	14	0	
		印刷製本費	R4	予算	66	0	その他使用料及び賃借料	R4	予算	80	0		
			R5	予算	66	0			R5	予算	82	0	
		物品等修繕料	R4	予算	20	0	その他備品購入費	R4	予算	0	0		
			R5	予算	20	0			R5	予算	80	0	
		通信運搬費	R4	予算	100	0	研修会等参加負担金	R4	予算	15	0		
R5	予算		152	0		R5		予算	15	0			
債務負担行為												(単位：千円)	
15		期間	R ~ R				要求額						

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	R4年度に「シンナー・覚醒剤等乱用防止啓発事業」を「薬事・毒物劇物関係許認可及び監視指導事業」に統合
	R5	継続実施
	R6以降	継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	市民が利用する薬局等における医薬品等の安全性を確保するための監視指導に係る経費を要求する。 また、乱用される薬物については、依然として大麻等の使用による深刻な社会問題が続いており、青年期からの薬物乱用防止教育が重要視されているため、本課で作成したパネルの展示やホームページを利用した啓発資料の掲載、SNSを利用した啓発等により青少年に対する薬物乱用防止教育を強化するための経費を要求する。
----	---------	--

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

				要求区分	その他
一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	公衆浴場衛生確保事業			事業番号	011-245
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	環境業務

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
2	関連計画						
3	事業開始年度			昭和 60 年度	点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律、堺市公衆浴場衛生確保事業補助金交付要綱				
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)			本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)			堺浴場組合（組合に加入している 1 5 施設（令和4年度））			
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)			一般公衆浴場（物価統制令第4条の規定に基づき入浴料金が定められている公衆浴場）の衛生水準向上を図ることを目的とし、必要な措置を講ずることにより利用者の安全を確保する。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段)			一般公衆浴場は物価統制令による入浴料金が統制されているため、自由に入浴料金を設定することができない。そのため、堺浴場組合が実施している公衆浴場の衛生確保事業に補助を行うことで、基幹設備の整備や改修を促すなど、衛生水準維持または向上を図る。 補助の対象は、基幹設備（ろ過器、集毛器、消毒装置）の整備や改善にかかる経費及び消毒剤等消耗品にかかる経費であり、それぞれ補助対象経費の半額の補助金を交付する。 令和4年度の補助対象施設は 1 5 施設である。			
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）			堺浴場組合			
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 点検年度 令和7年度
	衛生確保施設	件	目標値	15	15	15	15
			実績値	15	14		
			達成率	100%	93%		
	当該指標を選定した理由		公衆浴場の水質が良好に保たれているかを確認する基準として、法令に細菌学的検査基準が定められている				
目標値の設定根拠・算出方法		目標値：対象施設数（施設の廃止に伴い減少している） 実績値：細菌学的検査基準内の施設数					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	基幹設備改善施設	件	目標値	2	2	2	
			実績値	2	1		
			達成率	100%	50%		
	当該指標を選定した理由		公衆浴場の水質を良好な状態に保つためには、ろ過機等の基幹設備の整備は欠かせないものであるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		目標値：改善を予定している施設数 実績値：改善された施設数					

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	公衆浴場衛生確保事業	事業番号	011-245
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
				決算		決算		決算		予算		予算要求			
		事業費 (a)		2,150		1,746		1,589		3,500		2,500			
		国支出金													
		府支出金													
		市債													
		その他 ()													
		受益者負担金(使用料、手数料等)													
一般財源		2,150		1,746		1,589		3,500		2,500					
事業費の内訳												(単位：千円)			
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源		
		公衆浴場衛生確保事業補助		R4	予算	3,500	3,500			R4	予算				
				R5	予算	2,500	2,500			R5	予算				
				R4	予算					R4	予算				
				R5	予算					R5	予算				
				R4	予算					R4	予算				
				R5	予算					R5	予算				
				R4	予算					R4	予算				
				R5	予算					R5	予算				
				R4	予算					R4	予算				
				R5	予算					R5	予算				
				R4	予算					R4	予算				
R5	予算					R5	予算								
債務負担行為														(単位：千円)	
15	期間			R ~ R				要求額							

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	令和3年度に予算要求を4,000千円から3,500千円に減額
	R5	実績を踏まえ予算要求を2,500千円に減額。
	R6以降	補助金要綱の終期到来にあわせて、事業の見直しを行う。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	・一般市民が利用する公衆浴場の衛生向上を図る必要がある。 ・近年の施設の減少及び基幹設備の改修実績等を踏まえ、堺浴場組合と協議し、予算は2,500千円に減額して要求する。
----	---------	--

令和5年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	衛生害虫等啓発事業				事業番号	011-248
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	生活衛生センター	課

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	施策		
			無	取組の方向性			
		寄与 する KPI	有・無	指標名			
			無	現状値	－	目標値	－
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	ターゲット	－	
			無	取組			
寄与 する KPI		有・無	指標名				
		無	現状値	－	目標値	－	
2	関連計画						
3	事業開始年度			平成 ー 年度	点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			無（事業の一部として「住居環境改善援助事業要綱」有）			
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)			出先機関（生活衛生センター）			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)			堺市民（816,559人）			
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)			業務内容を駆除防除型から啓発指導型へと転換を進め、市民が衛生害虫の生態や対処方法を理解し自主防除意識の高揚を促進することで、市民生活の安全安心の確保と快適な生活環境の創出に寄与する。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段)			○地域住民が主体となって取組む蚊の防除活動（以下、「地域実践活動」という。）の普及拡大 3～6月に自治会等の約550団体（対象世帯数約11万世帯）へ防除薬剤を配付➡10月まで地域住民が月1回ペースで薬剤を投入し蚊の発生を抑制 ○ハチをはじめとする衛生害虫の相談について生態説明や対処方法などを指導啓発 年間約800件程度の問い合わせがあり、そのうちハチの相談が約60%を占める ○家庭で発生した虫の回収と同定（種族の特定）、その対処方法の説明 ○ネズミ駆除方法の相談、捕獲カゴの貸し出し、2月府内一斉でネズミ駆除強化月間 ○浸水害発生時の消毒作業、大規模水害発生時の消毒作業の応援協力に関する細目協定の協議 ○住居環境改善援助事業 ○「空家等対策の推進に関する特別措置法」に関する害虫発生の現地調査			
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）			一般社団法人 大阪府ベストコントロール協会			
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	目標 点検年度 令和7年度
	衛生害虫の相談件数に対する啓発件数の割合（啓発件数/相談件数）	%	目標値	99	100	100	100
			実績値	99	99		
			達成率	100%	99%		
	当該指標を選定した理由	市民からの相談に対して、害虫等の生態や防除方法を啓発することにより、市民の自主的な対応を推進する。					
目標値の設定根拠・算出方法	市民が自主的に害虫等を対処した実施数						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和3年度	実績見込み 令和4年度	目標 令和5年度	
	地域実践活動実施世帯数の状況	世帯	目標値	108,810	110,070	111,104	
			実績値	106,864	107,868		
			達成率	98%	98%		
	当該指標を選定した理由	蚊の発生で困っている地域住民からの申し込みにより、防除薬剤を提供し地域の自主的な蚊の防除活動を支援する。					
目標値の設定根拠・算出方法	地域実践活動実施世帯数に対して前年度比 3 パーセント増						

令和5年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	衛生害虫等啓発事業	事業番号	011-248
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 令和5年度予算要求額

事業コスト										(単位：千円)			
13	財 源 内 訳	項 目		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
				決算		決算		決算		予算		予算要求	
		事業費 (a)		18,423		15,500		15,192		15,861		21,962	
		国支出金											
		府支出金											
		市債											
		その他 ()											
		受益者負担金(使用料、手数料等)											
一般財源		18,423		15,500		15,192		15,861		21,962			
事業費の内訳												(単位：千円)	
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源
		消耗品費		R4	予算	4,975	4,975	通信運搬費		R4	予算	379	379
				R5	予算	4,893	4,893			R5	予算	294	294
		電気使用料		R4	予算	990	990	生活衛生センター清掃業務		R4	予算	820	820
				R5	予算	990	990			R5	予算	820	820
		水道使用料		R4	予算	495	495	生活衛生センター機械警備業務		R4	予算	489	489
				R5	予算	310	310			R5	予算	726	726
		施設等修繕料		R4	予算	0	0	生活衛生センター樹木維持管理 業務		R4	予算	242	242
				R5	予算	0	0			R5	予算	264	264
		物品等修繕料		R4	予算	699	699	その他		R4	予算	6,772	6,772
				R5	予算	840	840			R5	予算	12,825	12,825
債務負担行為												(単位：千円)	
15	期間		R ~ R				要求額						

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R4まで	事業の継続実施
	R5	事業の継続実施
	R6以降	事業の継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	・ハチ・蚊など相談件数の多い害虫種については、生息実態調査を行い効果的な対処方法の情報発信に努め、市民の自主防除意欲の向上を促す。 ・衛生害虫の啓発活動として、区役所の相談会及び標本展示室を活用した害虫標本教室などにより効果的に実施する。 ・衛生害虫の相談において、現地でデジタル顕微鏡を使用し害虫の種の同定結果を伝えることができるので、従来より速やかな市民対応が可能となる。また、デジタル顕微鏡で同定した多種の衛生害虫等のデータをホームページに掲載することにより、ホームページの質の向上につながる。 ・地域実践活動事業における蚊の防除薬剤については、郵送を活用し効率的に配付する。
----	---------	--